

6. 泉大津市の教育に関するアンケート調査 (小中学校教員調査)

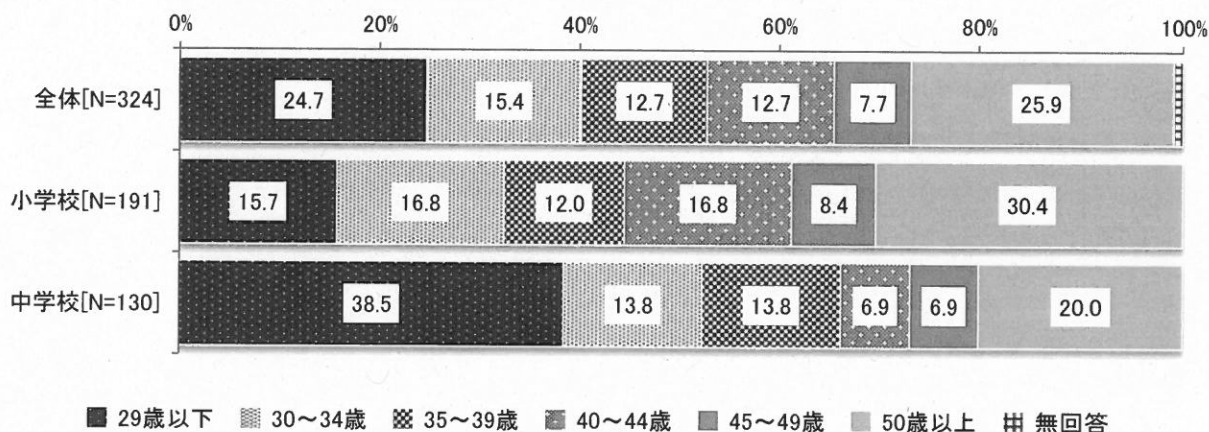
(1) 回答者属性

①年齢

問1 あなたの年齢は次のうちどれですか。(ひとつに〇)

年齢については、「50歳以上」が25.9%、「29歳以下」が24.7%となっており、年齢層は比較的分散しています。勤務先別でみると、中学校教員で「29歳以下」が多くなっています。

図表 189 年齢 [N=324] 【勤務先別】

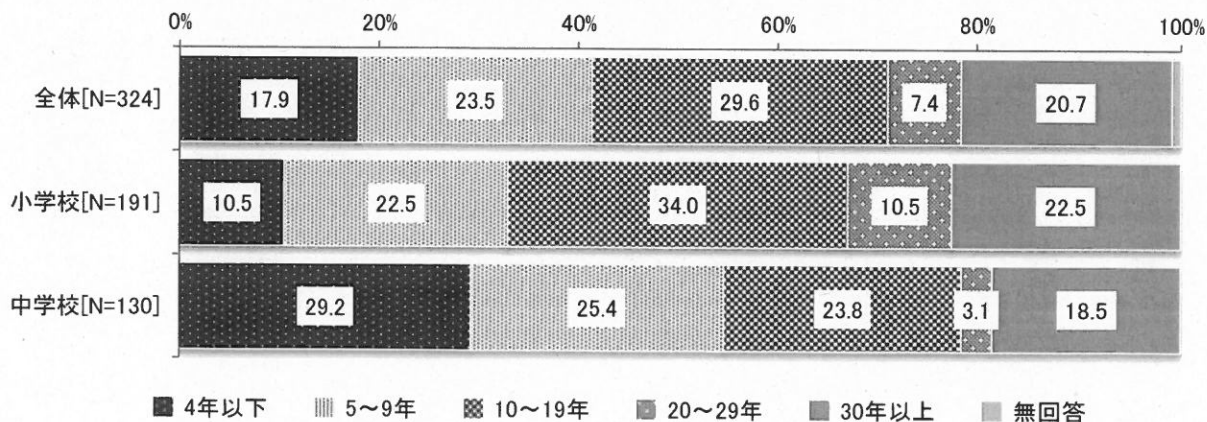


②教職経験年数

問2 あなたの教職経験年数（講師経験年数を含む）は次のうちどれですか。(ひとつに〇)

教職経験年数については、「10~19年」が29.6%、「5~9年」が23.5%、「30年以上」が20.7%、「4年以下」が17.9%、「20~29年」が7.4%となっています。勤務先別でみると、中学校教員で経験年数の短い人が多くなっています。

図表 190 教職経験年数 [N=324] 【勤務先別】

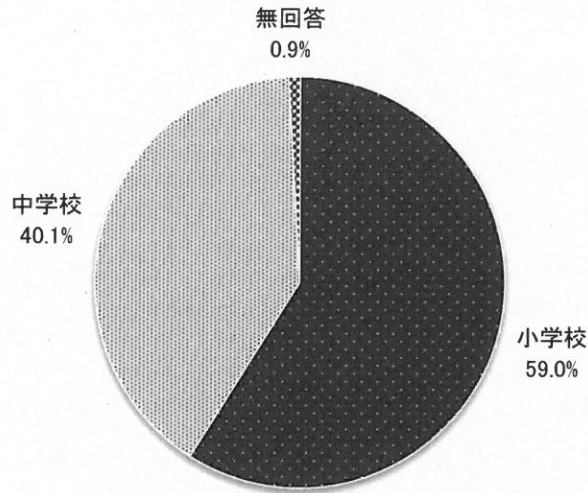


③勤務先

問3 あなたの勤務先はどちらですか。(いずれかに○)

勤務先については、「小学校」が59.0%、「中学校」が40.1%となっています。

図表 191 勤務先 [N=324]

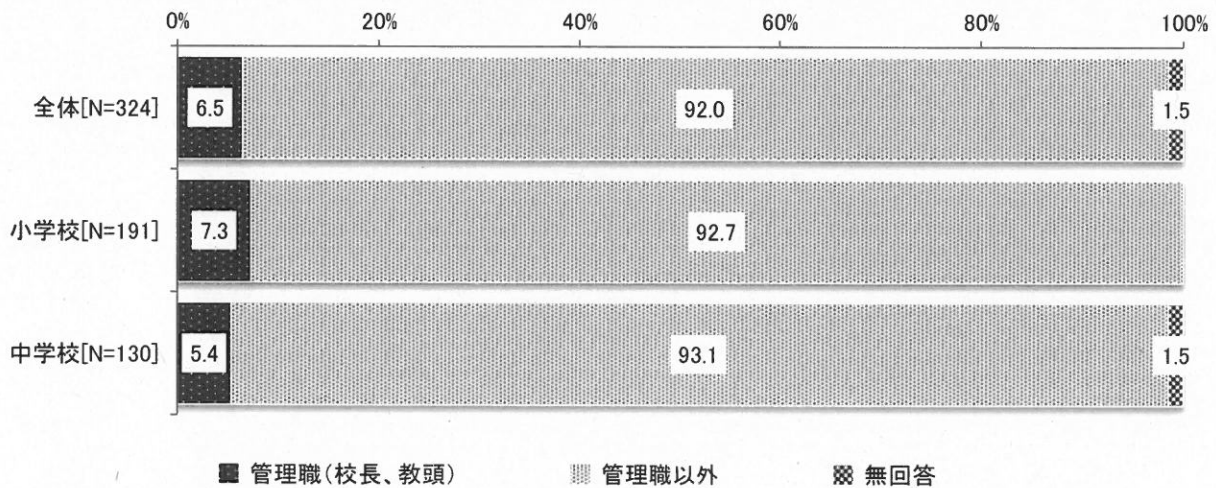


④役職

問4 あなたの役職・勤務形態は次のうちどれですか。(ひとつに○)

役職は、「管理職以外」が92.0%、「管理職(校長、教頭)」が6.5%となっています。

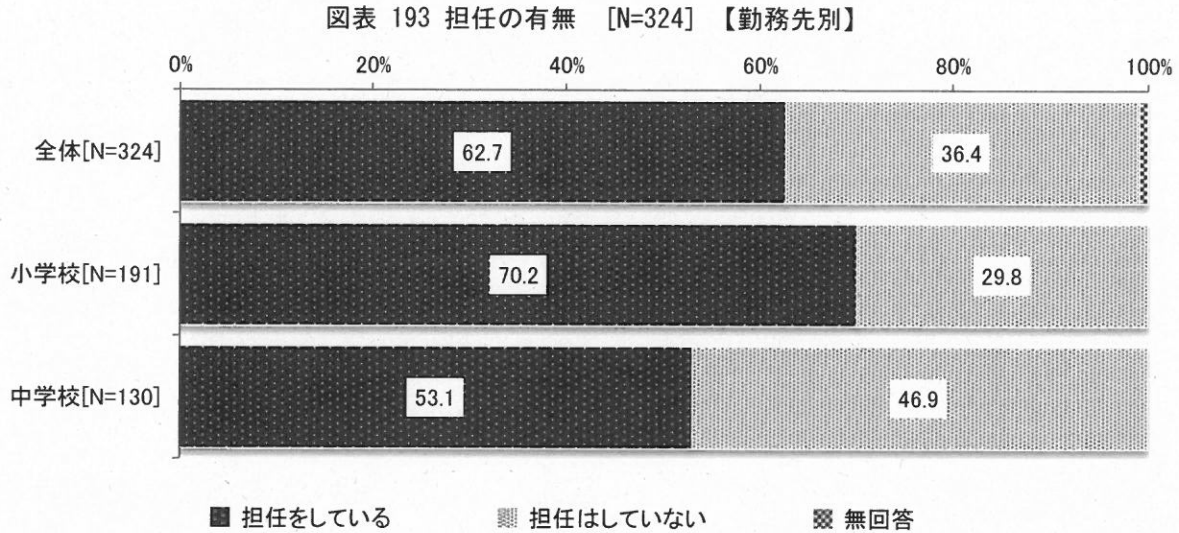
図表 192 役職 [N=324] 【勤務先別】



⑤ 担任の有無

問5 あなたは現在、担任をお持ちですか。(いずれかに○)

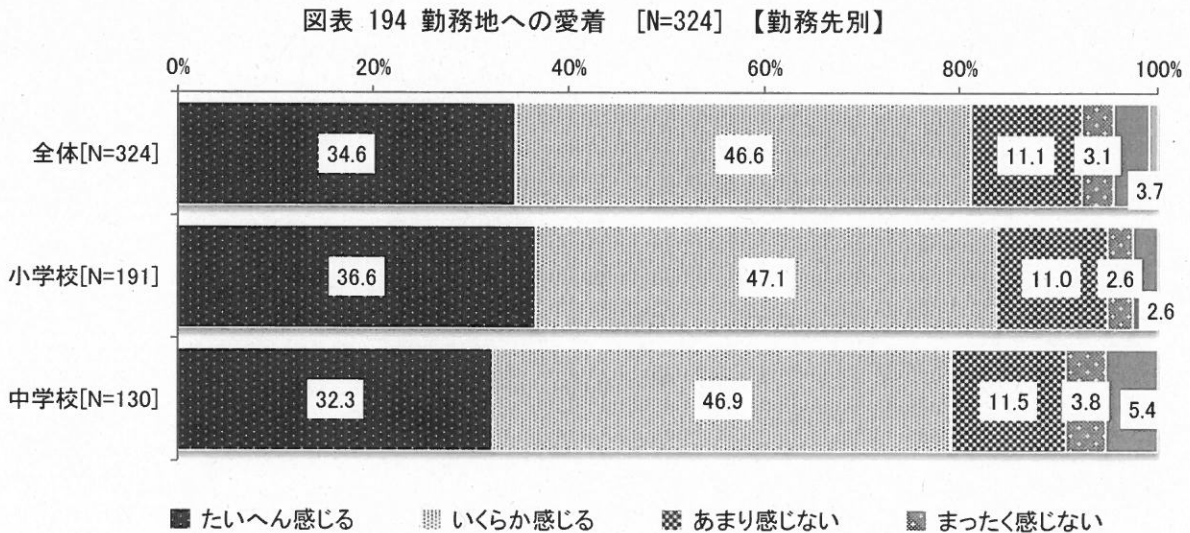
担任の有無については、「担任をしている」が62.7%、「担任はしていない」が36.4%となっています。勤務先別では、中学校教員で担任をしている人としていない人がほぼ半々となっています。



⑥ 勤務地への愛着

問6 あなたは、勤務先の地域について、愛着を感じますか。(ひとつに○)

勤務地への愛着について聞いたところ、「いづらか感じる」が46.6%、「たいへん感じる」が34.6%となっており、愛着を感じている人が多くなっています。



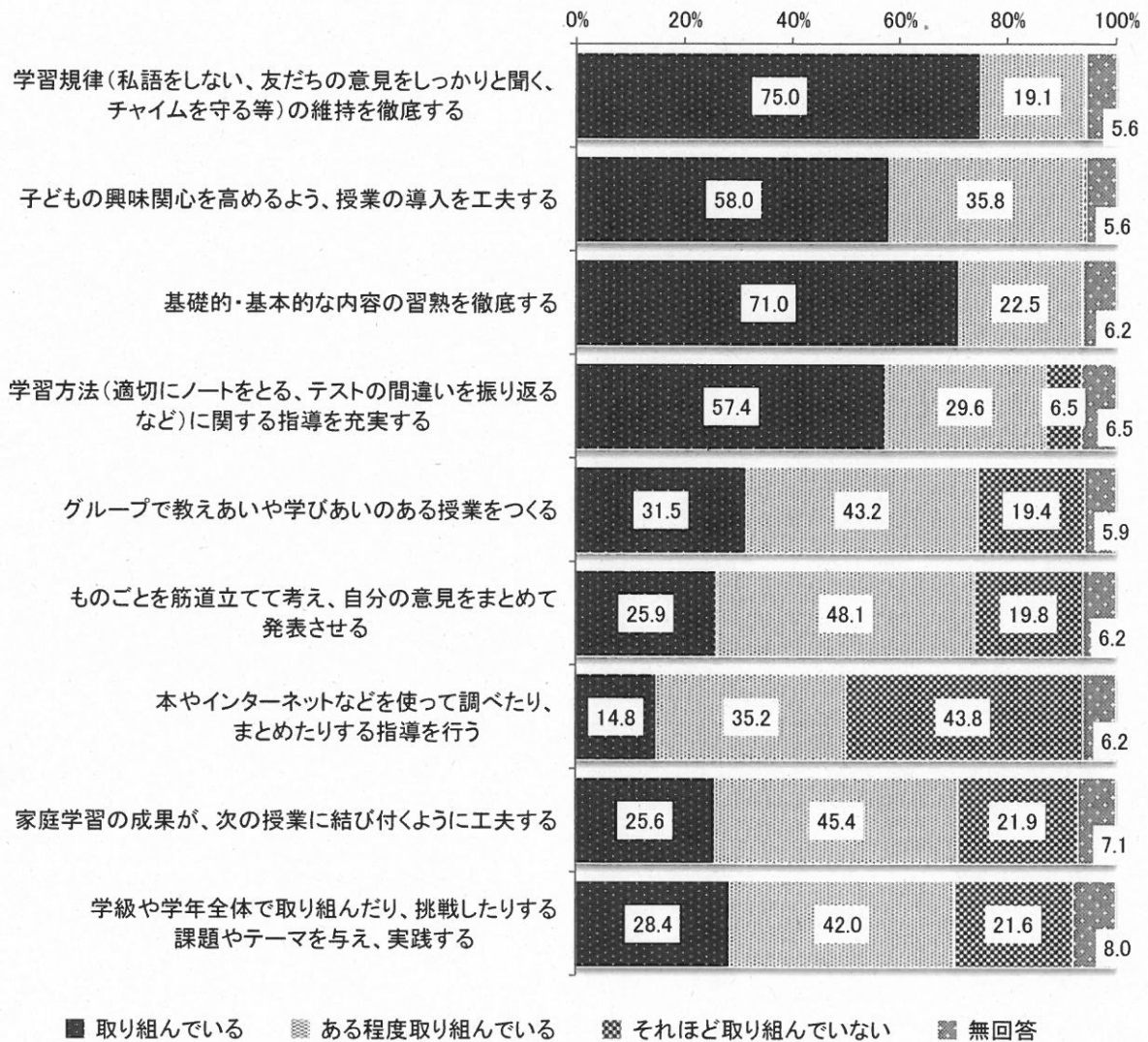
(2) 学習指導について

①学習指導で取り組んでいること

問7 あなたは、学習指導の中で、次のようなことにどのくらい取り組んでいますか。（各項目それぞれひとつに○）

学習指導で取り組んでいることは、「学習規律（私語をしない、友だちの意見をしっかりと聞く、チャイムを守る等）の維持を徹底する」、「基礎的・基本的な内容の習熟を徹底する」について、「取り組んでいる」という人が多くなっています。

図表 195 学習指導で取り組んでいること [N=324]

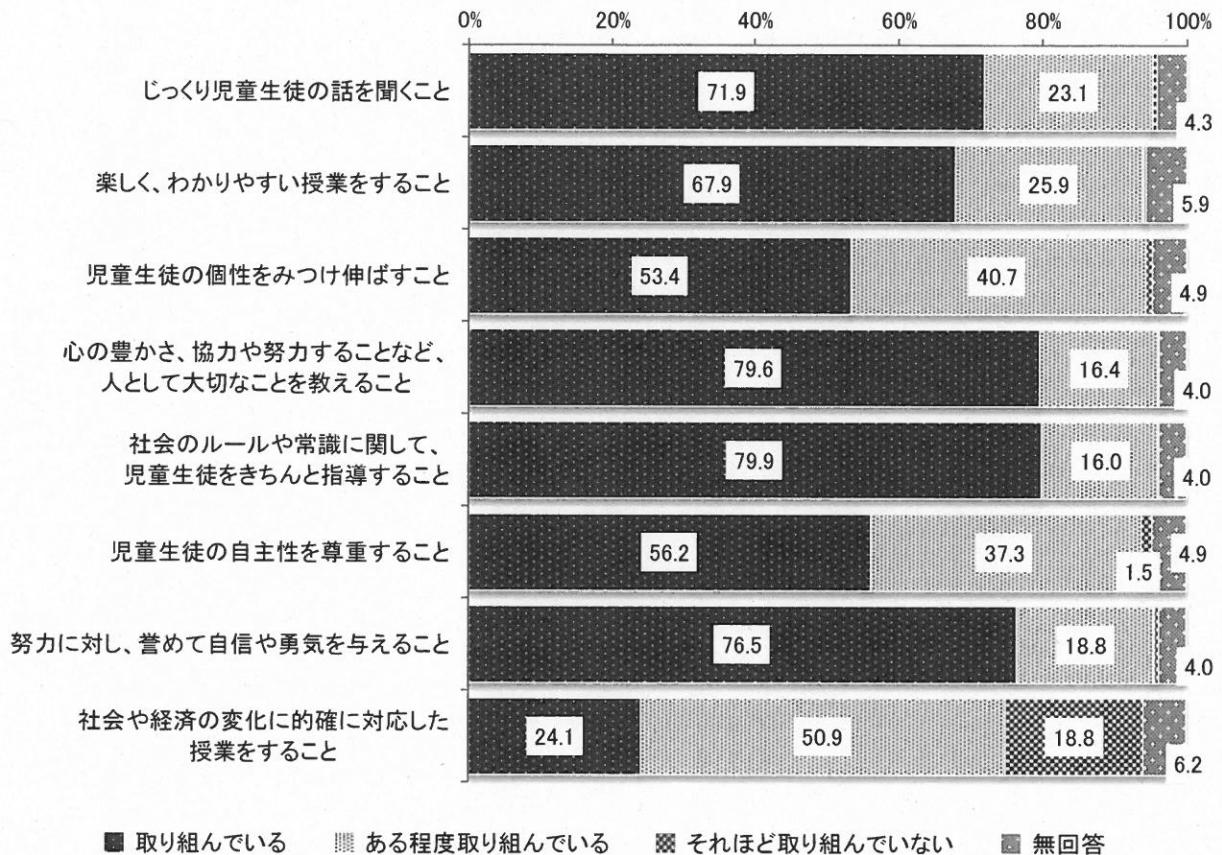


②児童生徒への関わりで取り組んでいること

問8 あなたは、児童生徒への関わり方として、次のようなことにどのくらい取り組んでいますか。
(各項目それぞれひとつに○)

児童生徒への関わりで取り組んでいることについて聞いたところ、「心の豊かさ、協力や努力することなど、人として大切なことを教えること」、「社会のルールや常識に関して、児童生徒をきちんと指導すること」、「努力に対し、誉めて自信や勇気を与えること」について、「取り組んでいる」という人が多くなっています。

図表 196 児童生徒への関わりで取り組んでいること [N=324]



(3) 職務の状況について

①職務の忙しさ

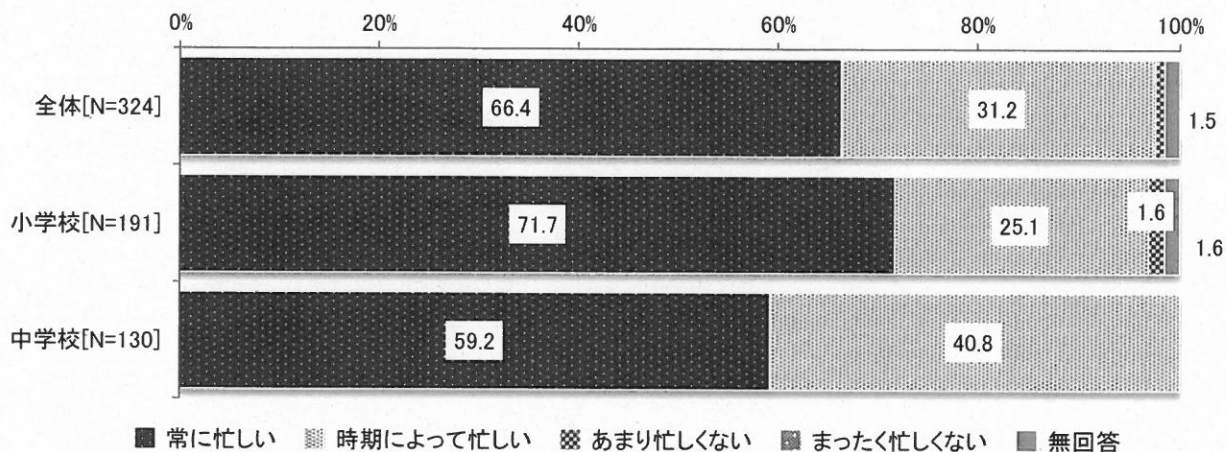
問9 あなたは、ご自身の職務について、どのくらい忙しいと感じていますか。(ひとつに〇)

職務の忙しさについては、「常に忙しい」が66.4%、「時期によって忙しい」が31.2%となっており、ほとんどの人が忙しさを感じています。

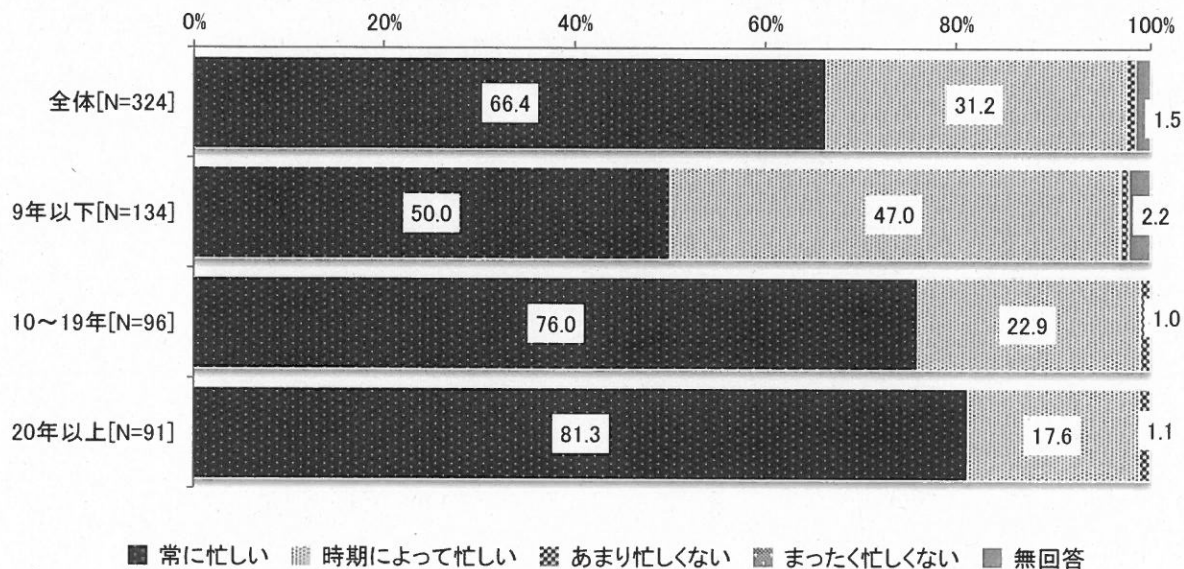
勤務先別では、小学校教員で「常に忙しい」という人が多くなっています。

経験年数別では、10年以上の人で「常に忙しい」という人が多くなっています。

図表 197 職務の忙しさ [N=324] 【勤務先別】



図表 198 職務の忙しさ [N=324] 【経験年数別】

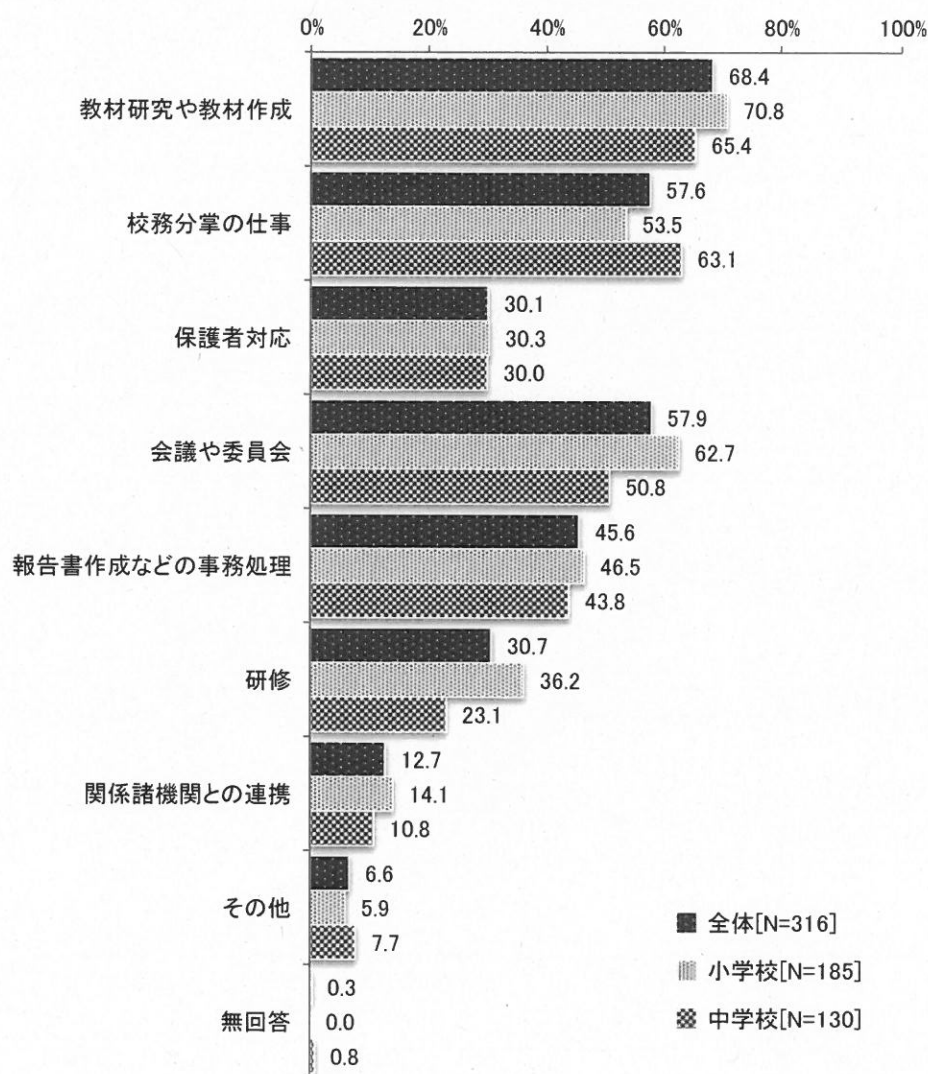


①-1 特に時間を要している業務

問10 前問（問9）で「常に忙しい」「時期によって忙しい」とお答えの方にお聞きします。子どもとの関わり以外の業務の中で、特に時間を要している業務は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

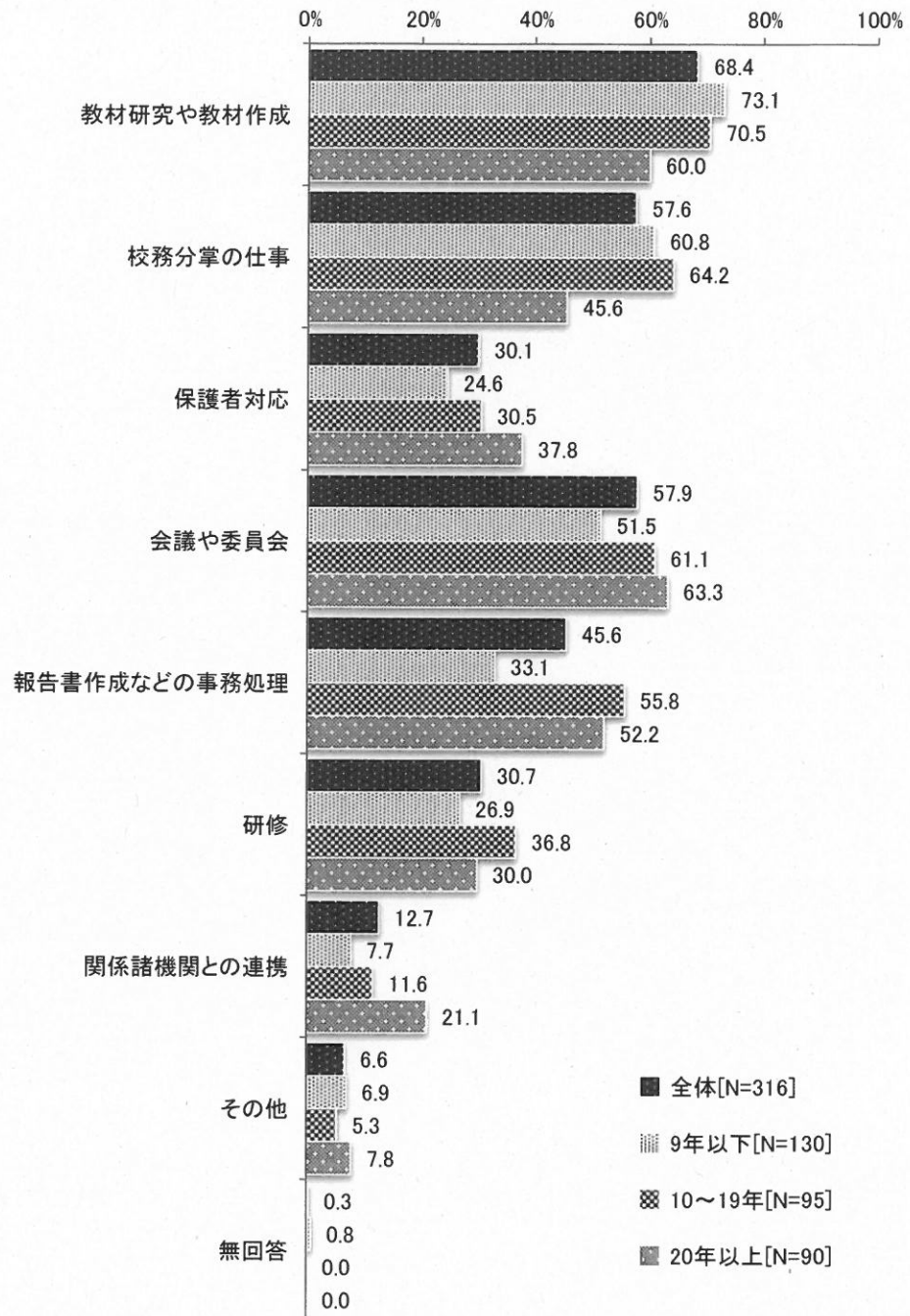
職務の忙しさで「常に忙しい」、「時期によって忙しい」と回答した人に、特に時間を要している業務について聞いたところ、「教材研究や教材作成」が68.4%と最も多く、次いで、「会議や委員会」が57.9%、「校務分掌の仕事」が57.6%となっています。中学校教員では「校務分掌の仕事」、小学校教員では「会議や委員会」が多くなっています。

図表 199 特に時間を要している業務 [N=316] 【勤務先別】



経験年数別でみると、9年以下の人では「教材研究や教材作成」をあげる人が多くなっていますが、「報告書作成などの事務処理」は他と比べて少なくなっています。また、20年以上の人では、「保護者対応」や「関係諸機関との連携」が他と比べて多くなっています。

図表 200 特に時間を要している業務 [N=316] 【経験年数別】

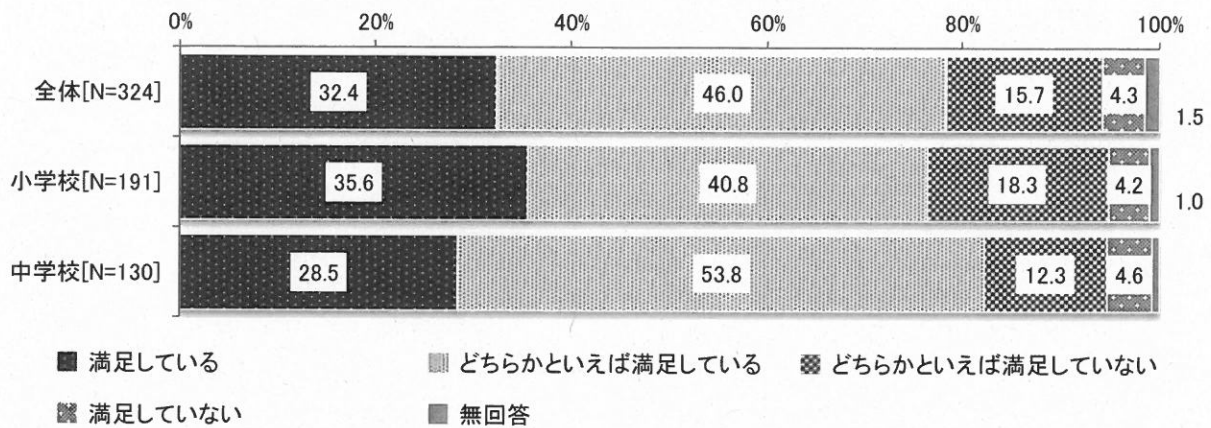


②勤務の満足度

問 11 あなたは、今の学校での勤務について、どの程度満足していますか。（ひとつに○）

勤務の満足度については、「どちらかといえば満足している」が 46.0%、「満足している」が 32.4%となっており、満足を感じている人が多くなっています。

図表 201 勤務の満足度 [N=324] 【勤務先別】

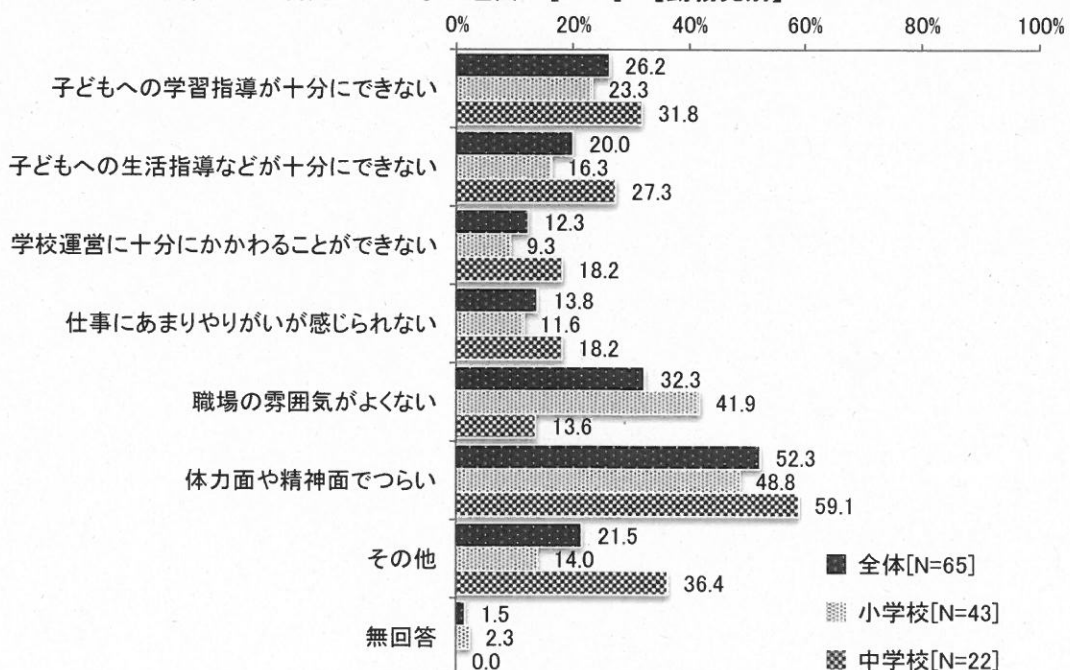


②-1 満足していない理由

問 12 前問（問 11）で「どちらかといえば満足していない」「満足していない」とお答えの方にお聞きします。満足していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

勤務の満足度で、「どちらかといえば満足していない」、「満足していない」と回答した人に、その理由について聞いたところ、「体力面や精神面でつらい」が 52.3%と最も多く、次いで、「職場の雰囲気がよくない」が 32.3%、「子どもへの学習指導が十分にできない」が 26.2%となっています。

図表 202 満足していない理由 [N=65] 【勤務先別】



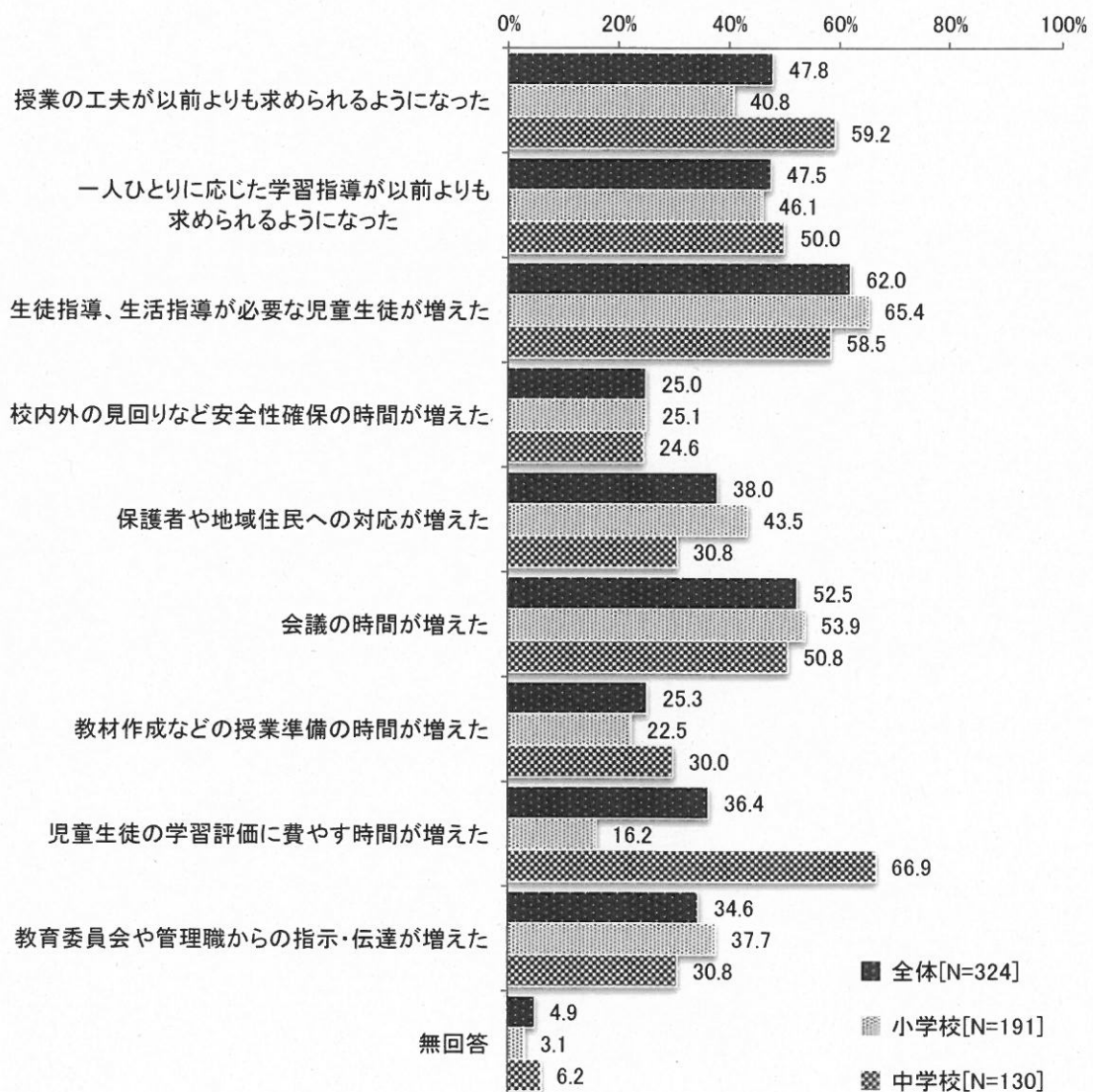
③勤務の中で感じること

問 13 勤務されていて、次のようなことを感じますか。（あてはまるものすべてに○）

勤務の中で感じることを聞いたところ、「生徒指導、生活指導が必要な児童生徒が増えた」が62.0%と最も多く、次いで、「会議の時間が増えた」が52.5%、「授業の工夫が以前よりも求められるようになった」が47.8%、「一人ひとりに応じた学習指導が以前よりも求められるようになった」が47.5%となっています。

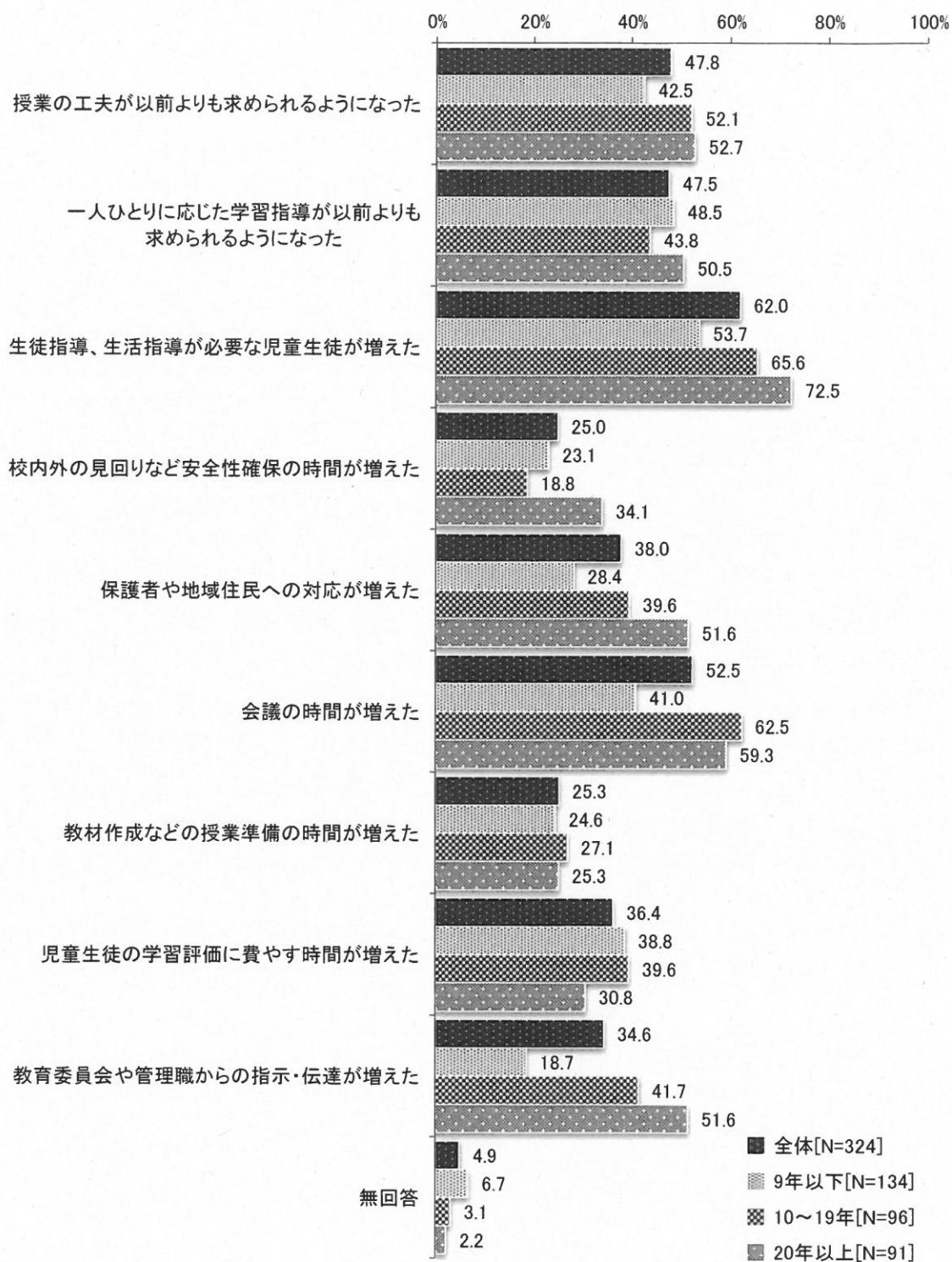
勤務先別でみると、中学校教員で、「児童生徒の学習評価に費やす時間が増えた」をあげる人が多くなっています。また、「授業の工夫が以前よりも求められるようになった」についても、中学校教員であげる人が多くなっています。

図表 203 勤務の中で感じること [N=324] 【勤務先別】



経験年数別で見ると、20年以上の人で、「生徒指導、生活指導が必要な児童生徒が増えた」、「教育委員会や管理職からの指示・伝達が増えた」をあげる人が多くなっています。

図表 204 勤務の中で感じること [N=324] 【経験年数別】



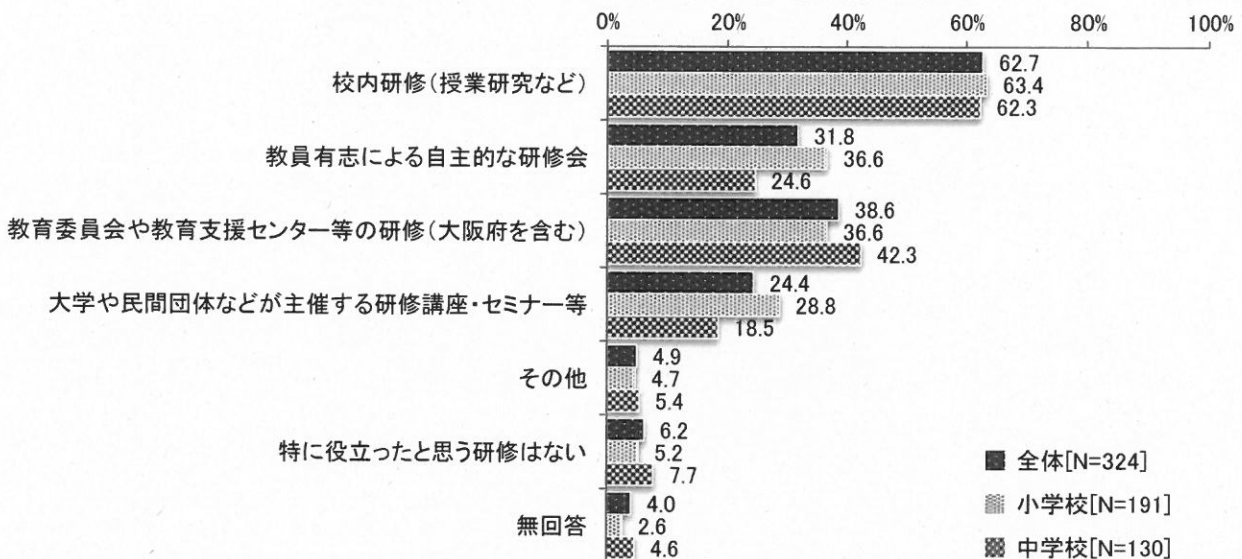
④ 役立っている研修

問 14 あなたは、ご自身の職務能力の向上に関して、どのような研修が役立っていると思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

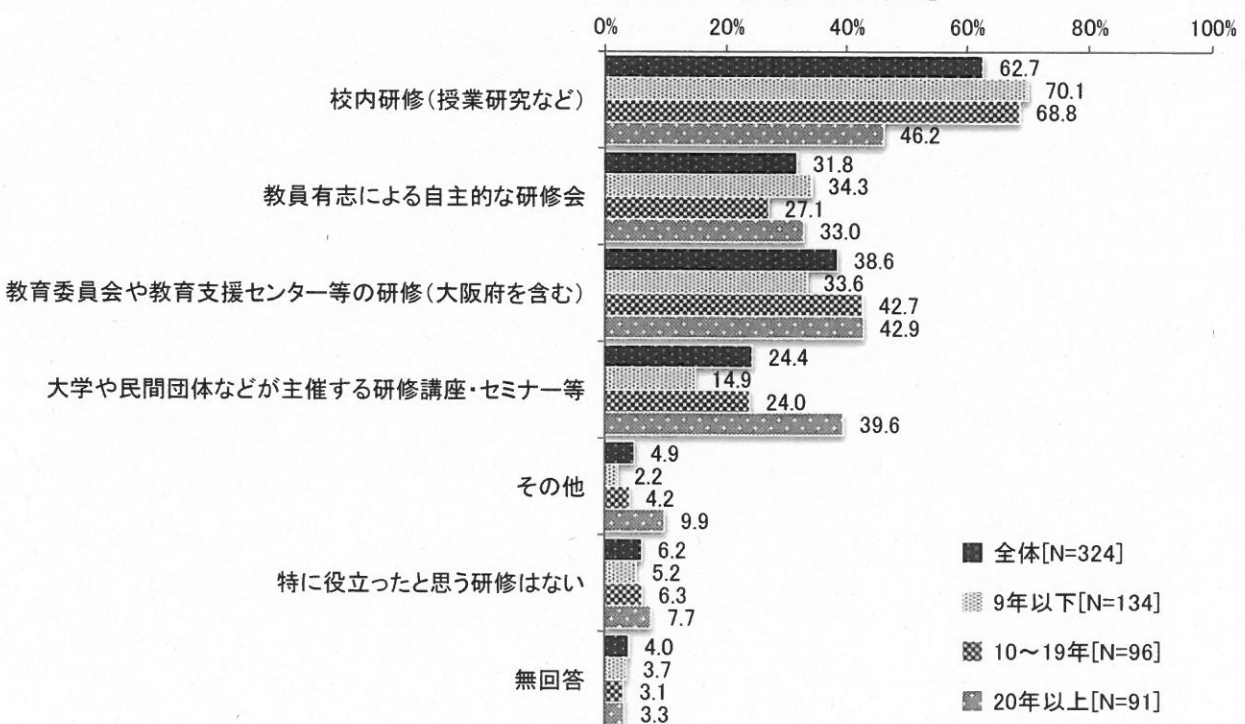
役立っている研修については、「校内研修(授業研究など)」が62.7%と最も多く、次いで、「教育委員会や教育支援センター等の研修(大阪府を含む)」が38.6%となっています。

勤務先別では、小学校教員で「教員有志による自主的な研修会」をあげる人が中学校教員と比較して多くなっています。経験年数別では、20年以上の人で、「大学や民間団体などが主催する研修講座・セミナー等」をあげる人が他と比較して多くなっています。

図表 205 役立っている研修 [N=324] 【勤務先別】



図表 206 役立っている研修 [N=324] 【経験年数別】



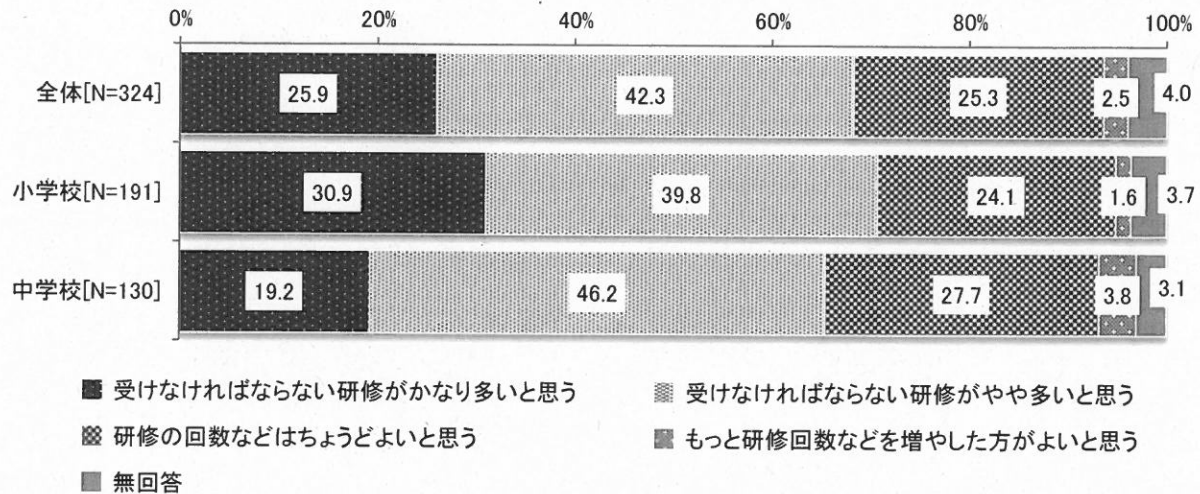
⑤研修回数についての感想

問 15 研修の回数などについてはどう思いますか。(ひとつに〇)

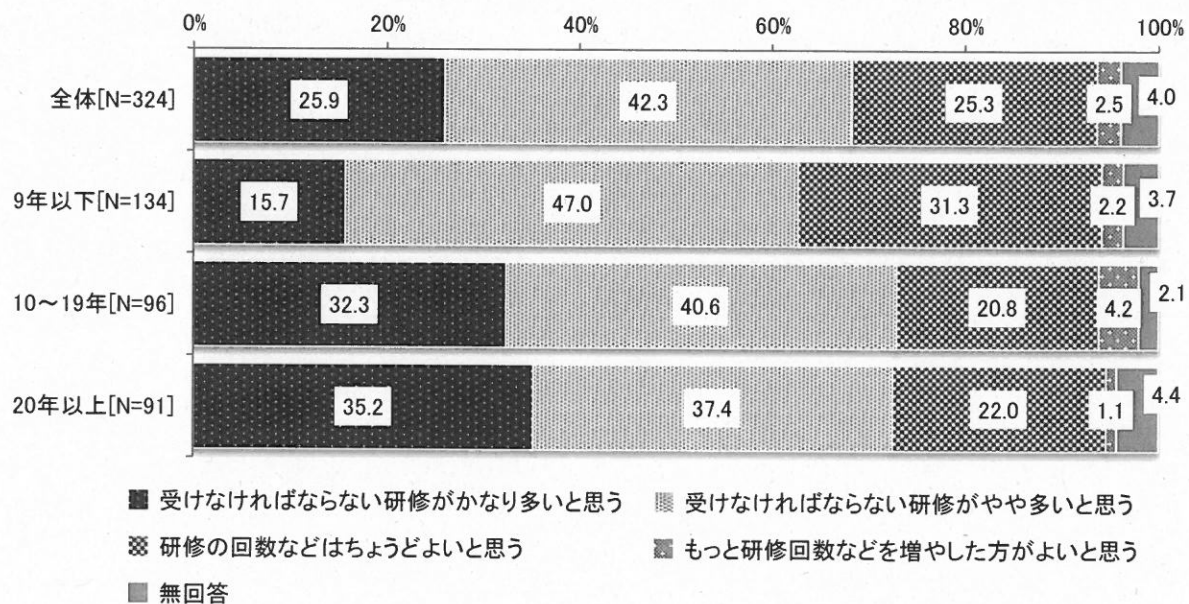
研修回数について聞いたところ、「受けなければならない研修がやや多いと思う」が 42.3%、「受けなければならない研修がかなり多いと思う」が 25.9%となっており、回数が多いと感じている人が多くなっています。

勤務先別でみると、小学校教員で、研修が多いと感じている人がやや多くなっている傾向が見られます。経験年数別でみると、10年以上の人で、研修が多いと感じている人が多くなっています。

図表 207 研修回数についての感想 [N=324] 【勤務先別】



図表 208 研修回数についての感想 [N=324] 【経験年数別】



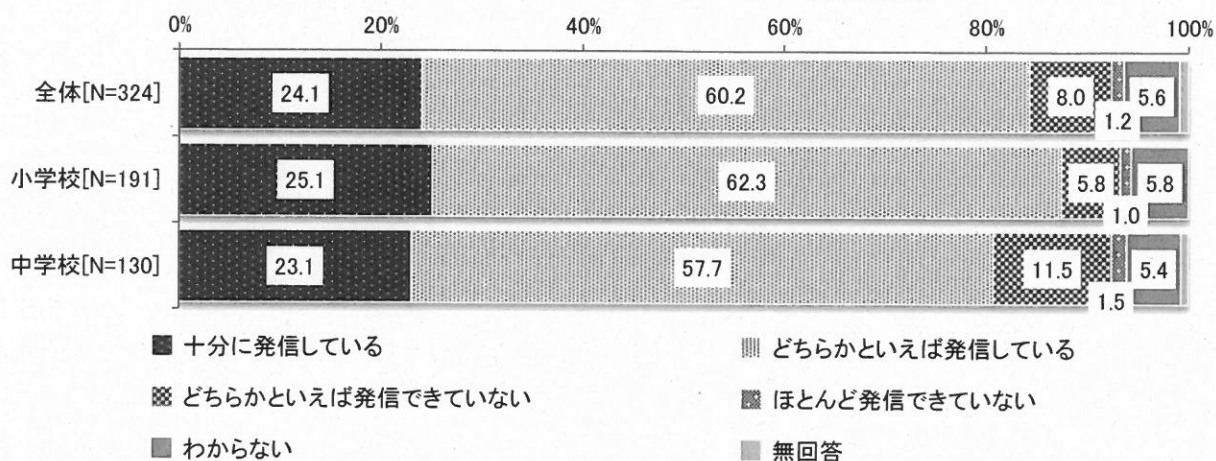
(4) 学校・保護者・地域の関わりについて

①学校の情報発信状況

問 16 あなたの学校では、子どもの学校生活の様子や学校の運営方針などの情報を、保護者や地域にどのくらい発信していると思いますか。(ひとつに○)

学校の情報発信状況について聞いたところ、「どちらかといえば発信している」が60.2%、「十分に発信している」が24.1%となっており、発信していると感じている人が多くなっています。

図表 209 学校の情報発信状況 [N=324] 【勤務先別】

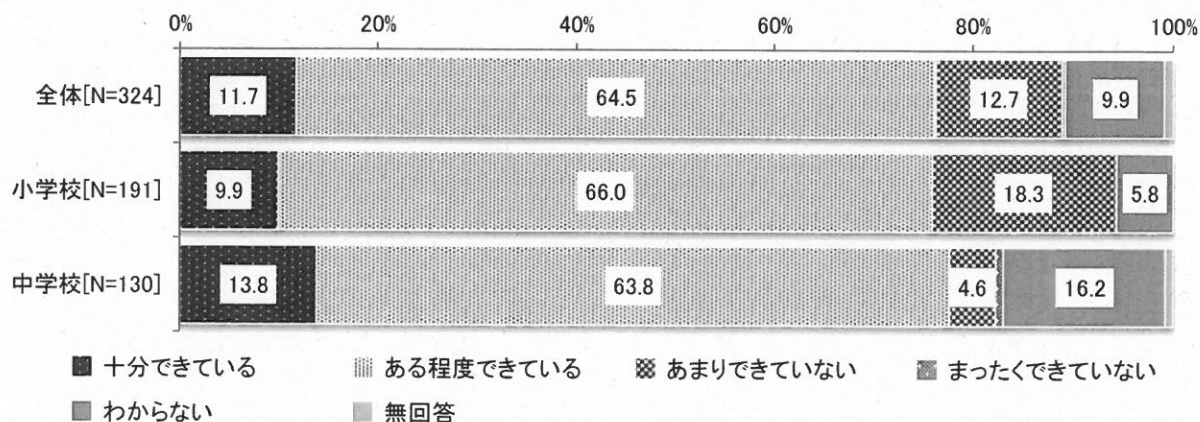


②学校・保護者・地域の連携状況

問 17 あなたの学校では、運営に関して、保護者、地域の連携ができていますか。(ひとつに○)

学校・保護者・地域の連携状況について聞いたところ、「ある程度できている」が64.5%となっており、「十分できている」11.7%と合わせ、連携ができていますと感じている人が多くなっています。

図表 210 学校・保護者・地域の連携状況 [N=324] 【勤務先別】



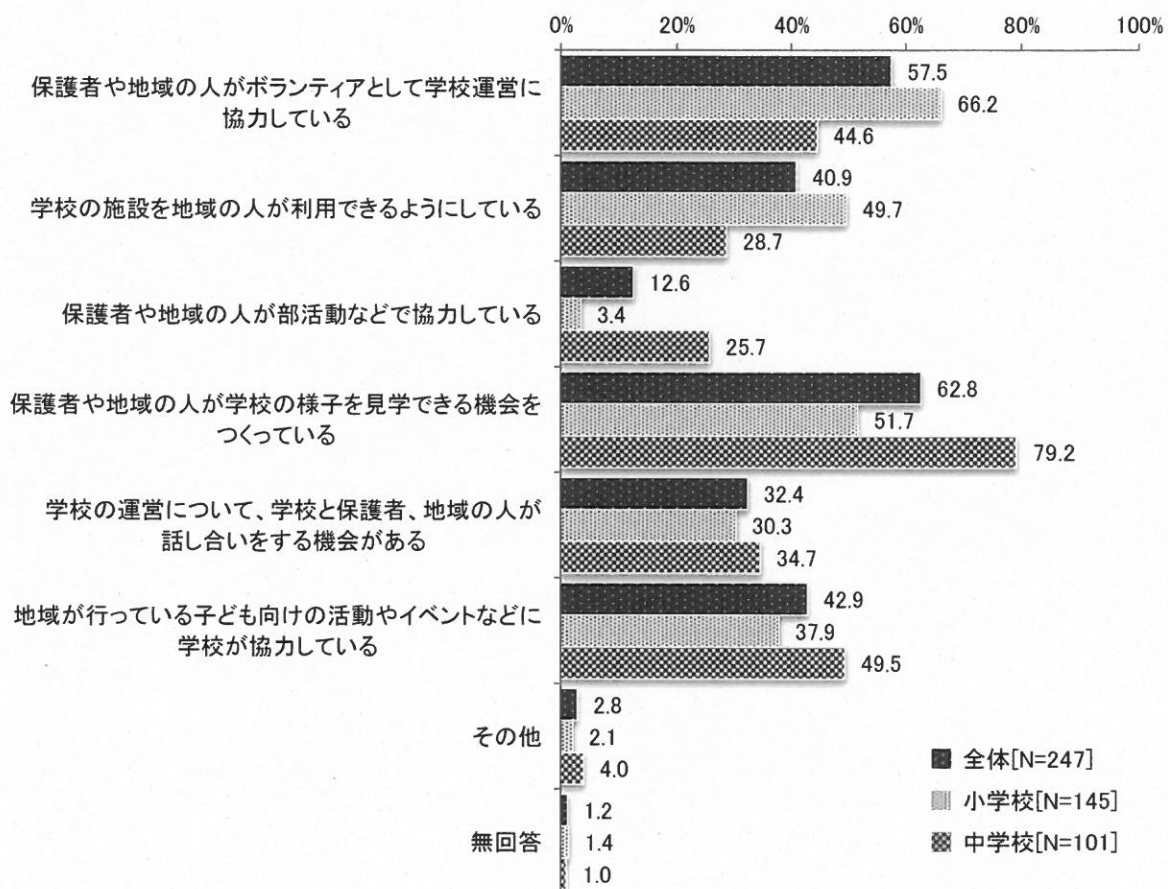
②-1 特に連携できているところ

問 18 前問（問 17）で、「十分できている」「ある程度できている」とお答えの方にお聞きします。特にどこが連携できていると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

連携ができていると回答した人に、特に連携できているところについて聞いたところ、「保護者や地域の人が学校の様子を見学できる機会をつくっている」が 62.8%と最も多く、次いで、「保護者や地域の人ボランティアとして学校運営に協力している」が 57.5%、「地域が行っている子ども向けの活動やイベントなどに学校が協力している」が 42.9%、「学校の施設を地域の人利用できるようにしている」が 40.9%となっています。

勤務先別でみると、小学校教員では「保護者や地域の人ボランティアとして学校運営に協力している」、中学校教員では「保護者や地域の人学校の様子を見学できる機会をつくっている」をあげる人が多くなっています。

図表 211 特に連携できているところ [N=247] 【勤務先別】



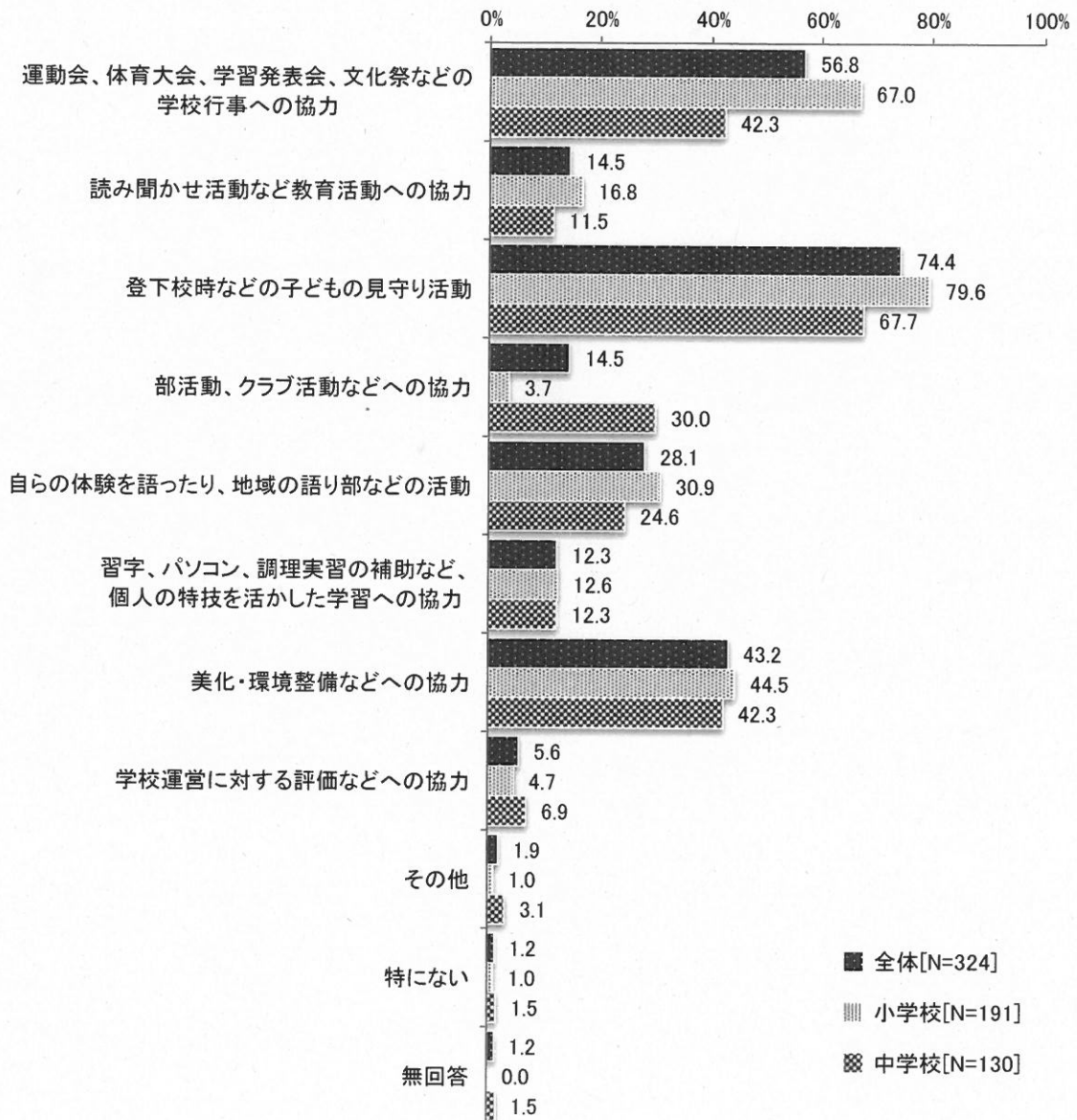
③学校運営で保護者・地域の支援が望まれること

問 19 あなたは、学校の運営に関して、特にどのような保護者、地域の支援が望まれると思いますか。(3つまで選んで○)

学校運営で保護者・地域の支援が望まれることを聞いたところ、「登下校時などの子どもの見守り活動」が74.4%と最も多く、次いで、「運動会、体育大会、学習発表会、文化祭などの学校行事への協力」が56.8%、「美化・環境整備などへの協力」が43.2%となっています。

勤務先別でみると、小学校教員で「登下校時などの子どもの見守り活動」、「運動会、体育大会、学習発表会、文化祭などの学校行事への協力」をあげる人が多くなっています。

図表 212 学校運営で保護者・地域の支援が望まれること [N=324] 【勤務先別】



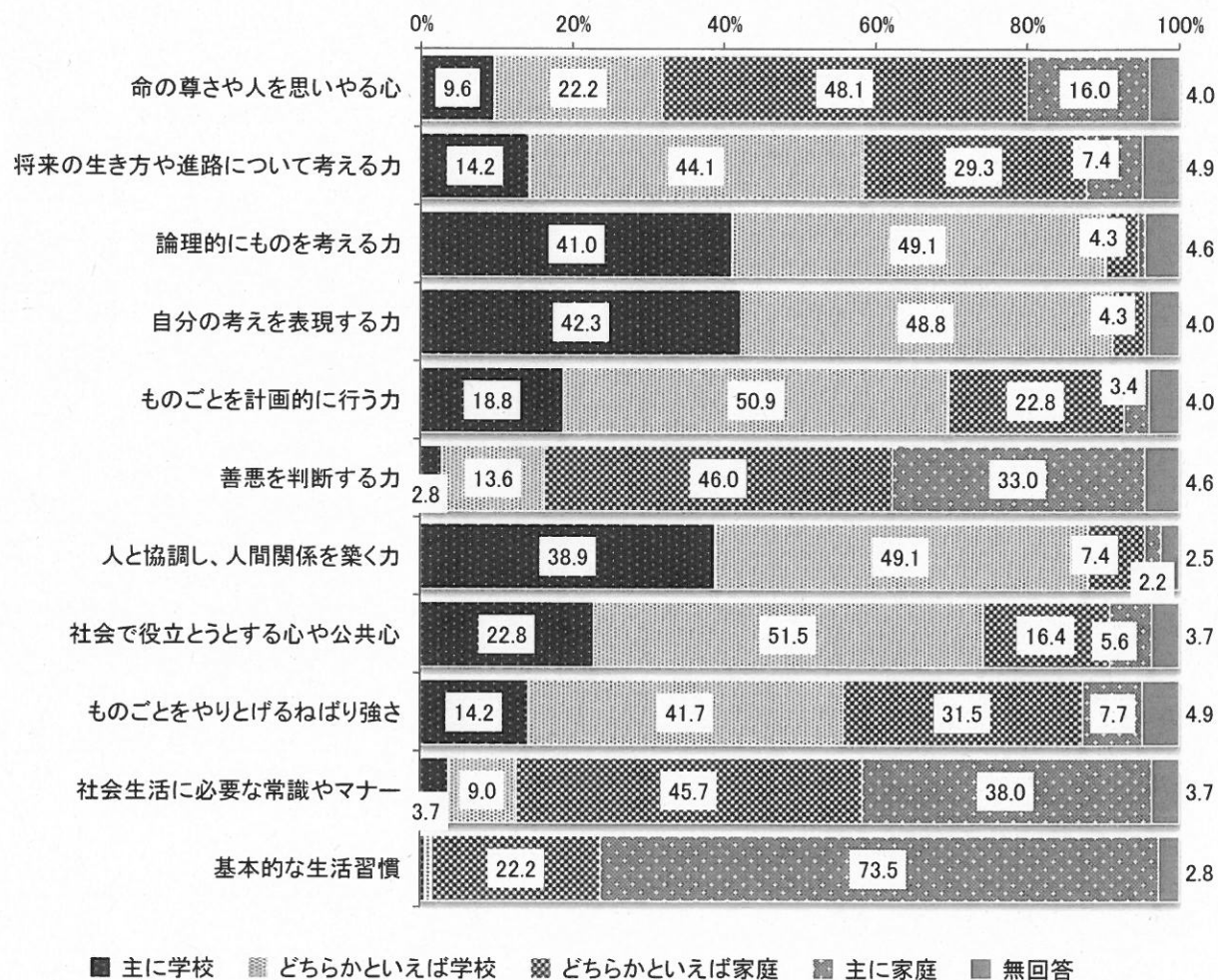
(5) 子どもの教育に関する学校・家庭・地域の役割について

①学校・家庭で学ぶべきこと

問 20 あなたは、子どもが次のような力や態度を身につけるためには、主に学校で学ぶべきと思いますか、家庭で身につけるべきと思いますか。（各項目それぞれひとつに○）

学校・家庭で学ぶべき項目について聞いたところ、「自分の考えを表現する力」、「論理的にものを考える力」、「人と協調し、人間関係を築く力」は学校をあげる人が多くなっています。また、「基本的な生活習慣」、「社会生活に必要な常識やマナー」、「善悪を判断する力」、「命の尊さや人を思いやる心」は家庭をあげる人が多くなっています。

図表 213 学校・家庭で学ぶべきこと [N=324]

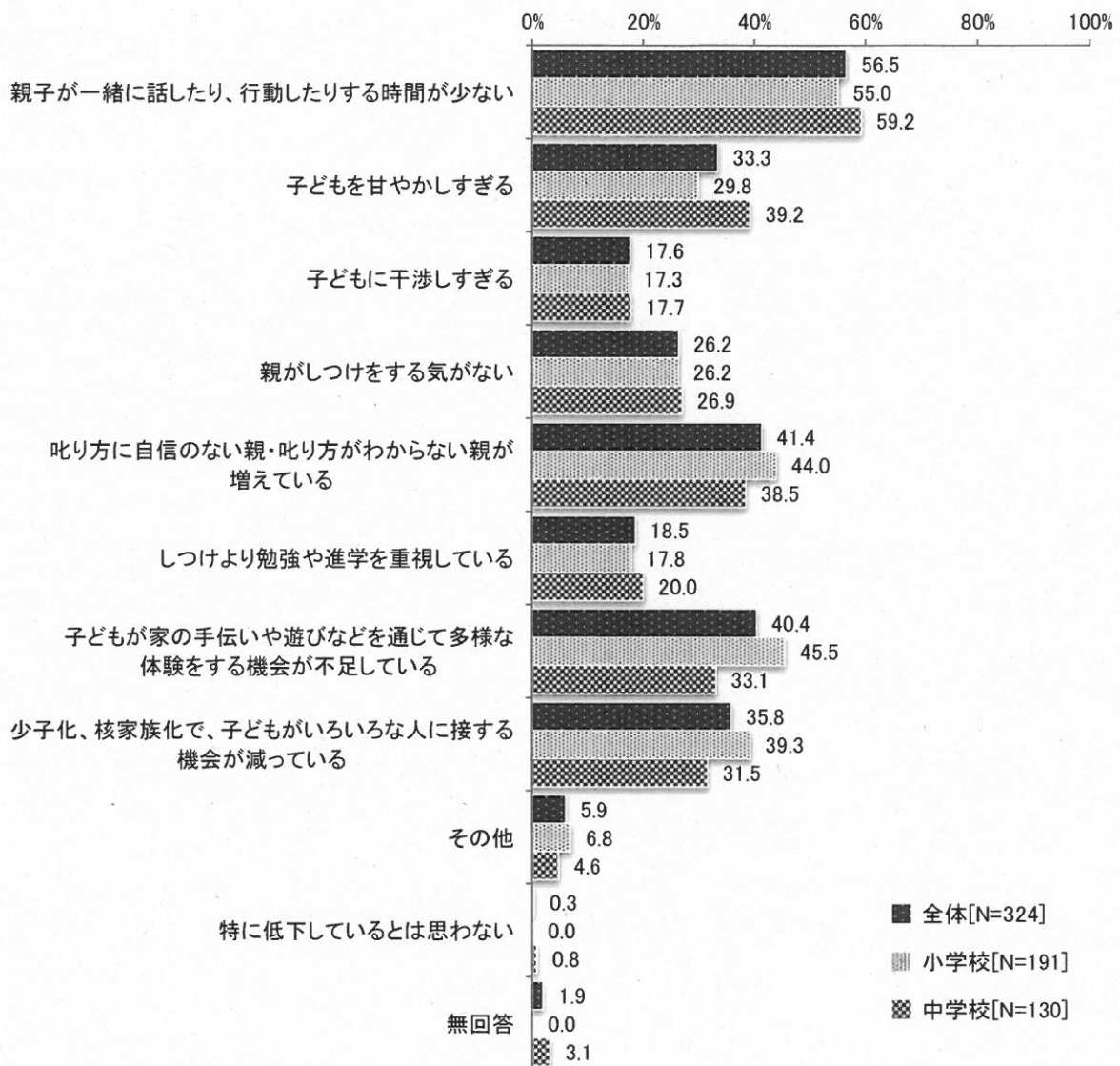


②家庭の教育力低下の原因

問 21 家庭のしつけ・教育力が一般的に低下していると言われていますが、あなたは、何に原因があると思いますか。（3つまで選んで○）

家庭の教育力低下に関し、その原因と思うことについて聞いたところ、「親子が一緒に話したり、行動したりする時間が少ない」が56.5%と最も多く、次いで、「叱り方に自信のない親・叱り方がわからない親が増えている」が41.4%、「子どもが家の手伝いや遊びなどを通じて多様な体験をする機会が不足している」が40.4%となっています。

図表 214 家庭の教育力低下の原因 [N=324] 【勤務先別】

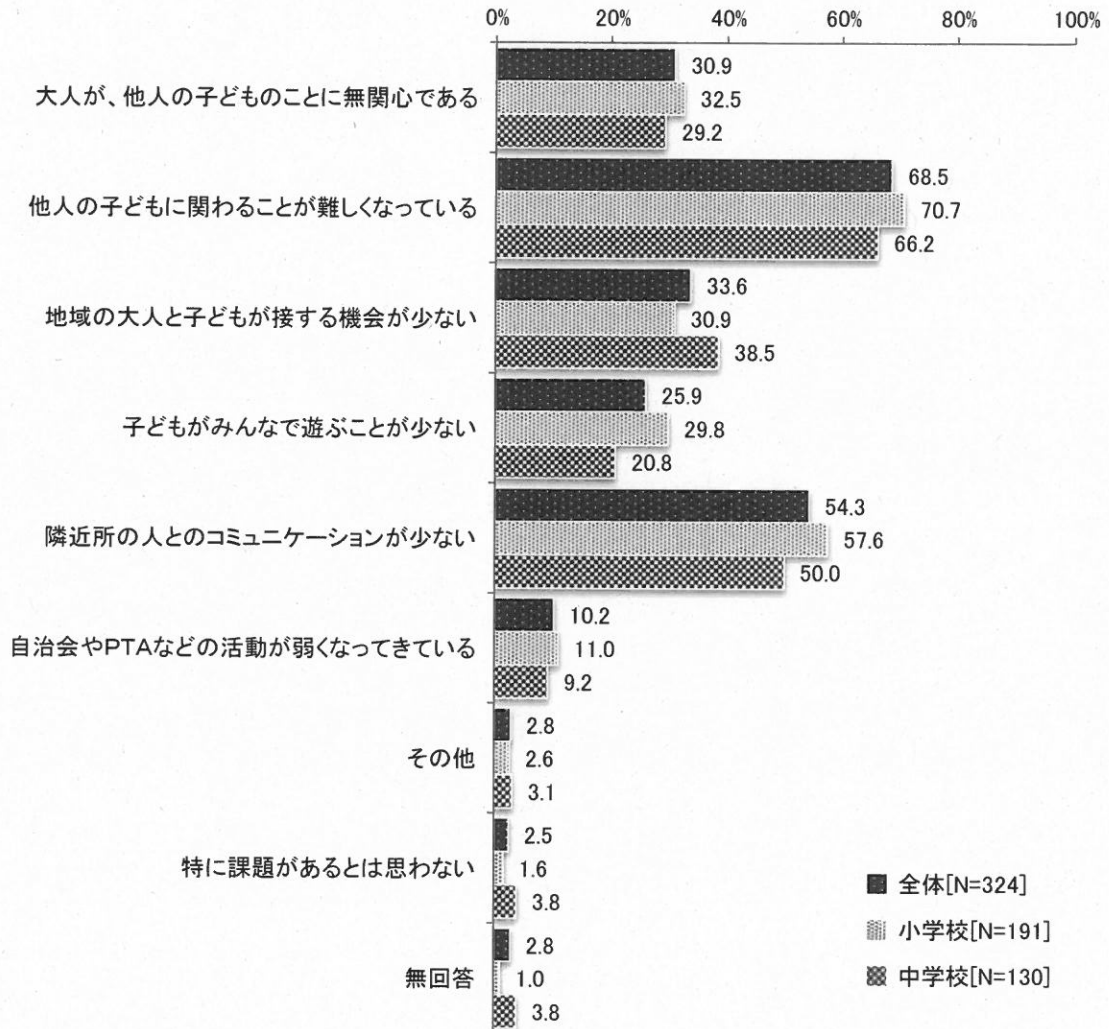


③子どもの教育に関する地域の課題

問 22 地域には、子どもの教育に関して、どのような課題があると思いますか。（3つまで選んで○）

子どもの教育に関する地域の課題については、「他人の子どもに関わることが難しくなっている」が68.5%と最も多く、次いで、「隣近所の人とのコミュニケーションが少ない」が54.3%、「地域の大人と子どもが接する機会が少ない」が33.6%、「大人が、他人の子どものことに関心がない」が30.9%となっています。

図表 215 子どもの教育に関する地域の課題 [N=324] 【勤務先別】

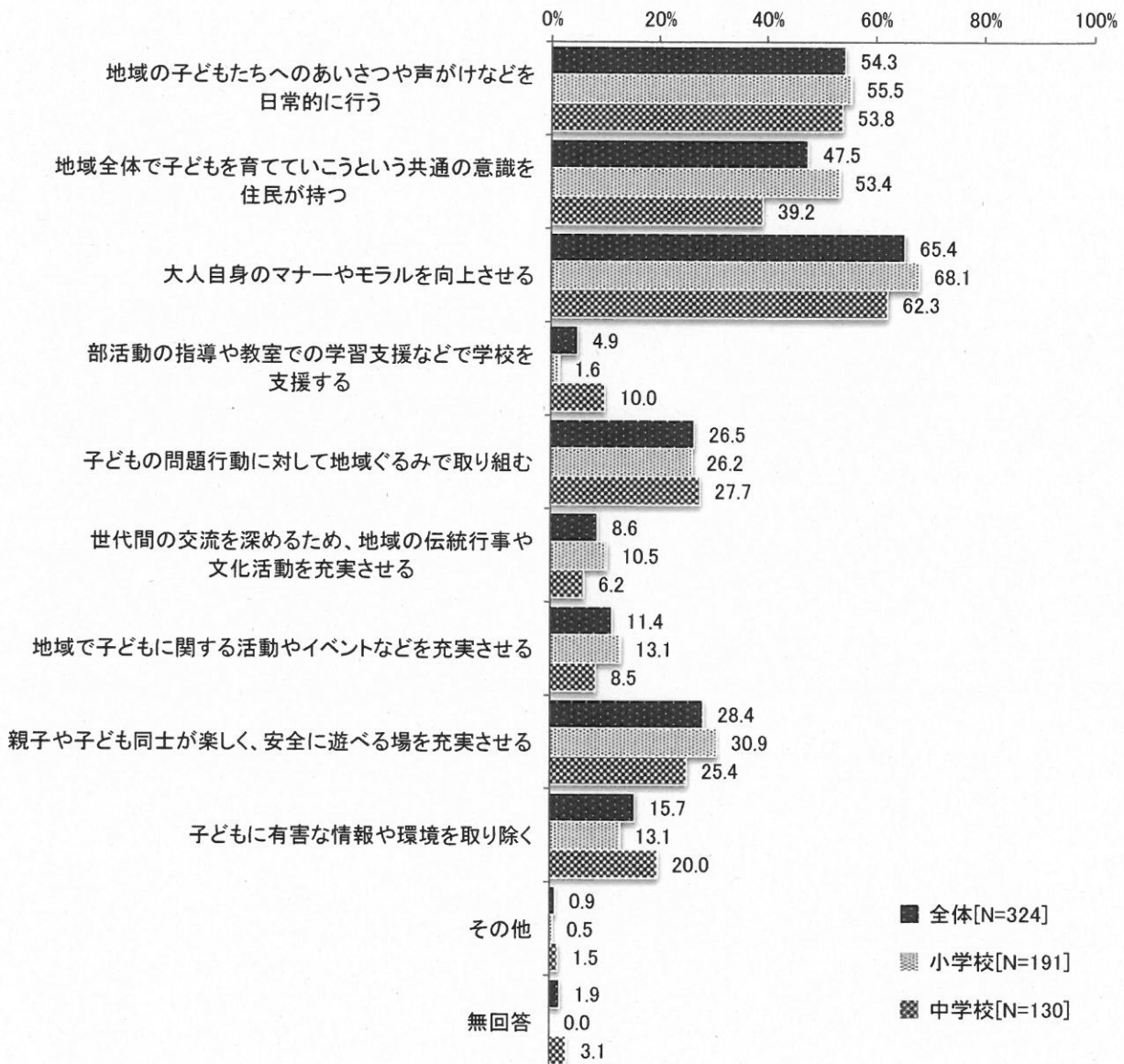


④地域で取り組むべきこと

問 23 あなたは、子どもたちを地域全体で育てていくために、地域でどのようなことに力を入れて取り組むべきだと思いますか。（3つまで選んで○）

地域で取り組むべきことについて聞いたところ、「大人自身のマナーやモラルを向上させる」が65.4%と最も多く、次いで、「地域の子どもたちへのあいさつや声かけなどを日常的に行う」が54.3%、「地域全体で子どもを育てていこうという共通の意識を住民が持つ」が47.5%となっている。

図表 216 地域で取り組むべきこと [N=324] 【勤務先別】

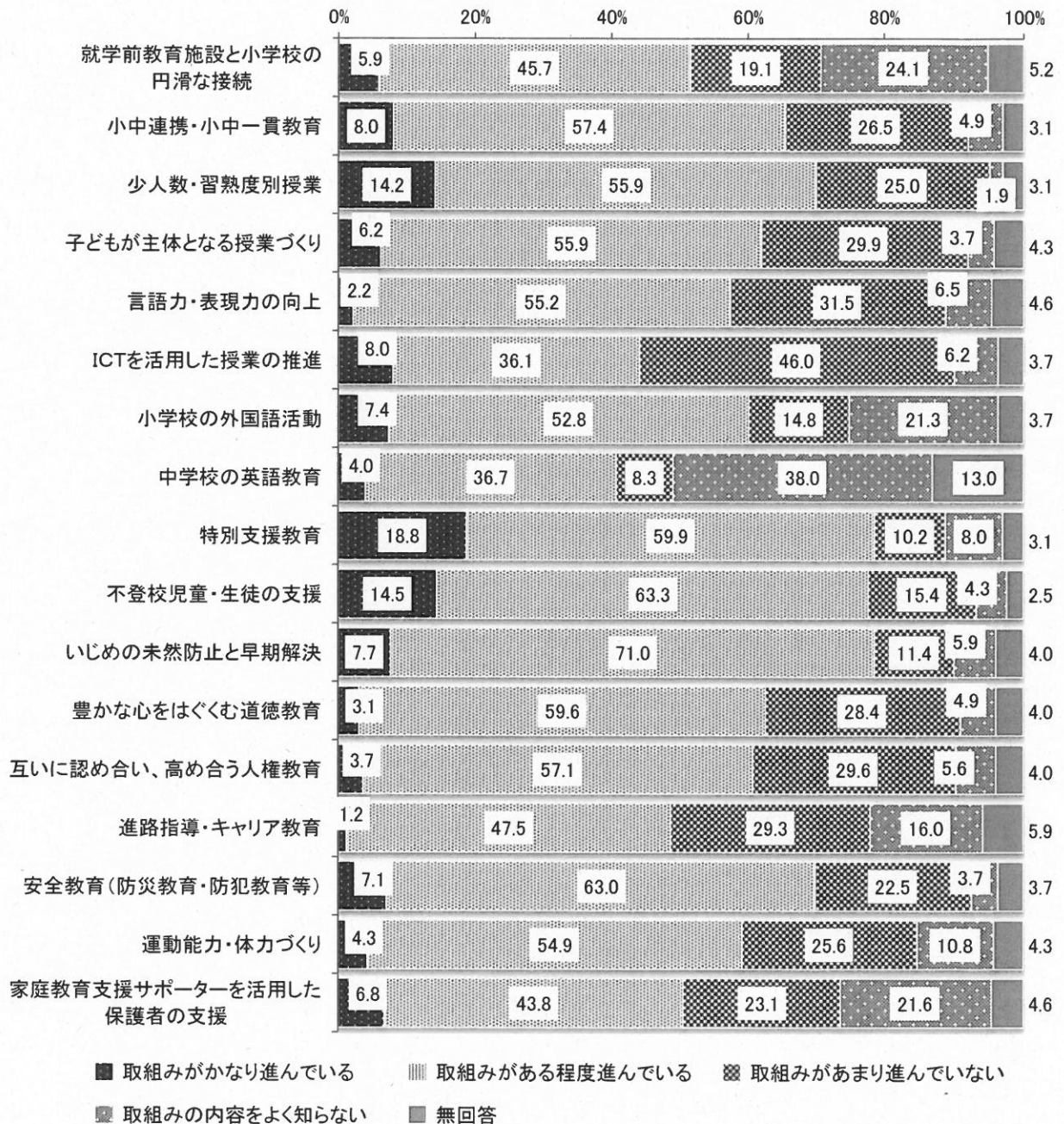


⑤市の教育に関する取組みについての感想

問 24 泉大津市の教育に関し、次の取組みについて、あなたはどのように思いますか。(各項目それぞれひとつに○)

市の教育に関する取組みについて、その進捗状況をどう思うかを聞いたところ、「特別支援教育」、「不登校児童・生徒の支援」、「いじめの未然防止と早期解決」については、取組みが進んでいると感じている人が比較的多くなっています。また、「ICTを活用した授業の推進」に関しては、取組みがあまり進んでいないと感じている人が多くなっています。

図表 217 市の教育に関する取組みについての感想 [N=324]



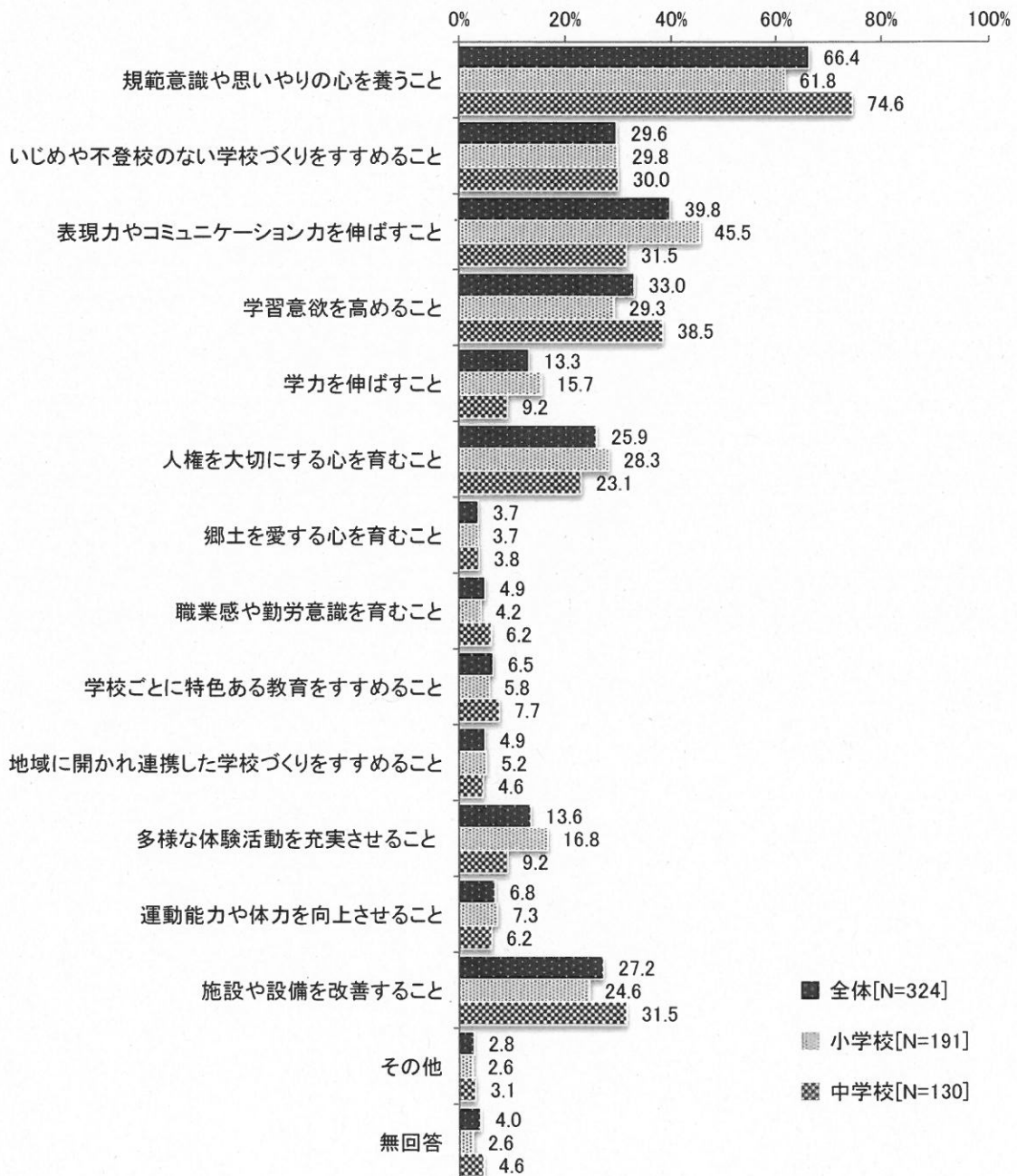
⑥これからの学校教育で大切と思うこと

問 25 あなたは、これからの学校の教育について、特にどんなことが大切だと思いますか。（3つまで選んで○）

これからの学校教育で大切と思うことについて聞いたところ、「規範意識や思いやりの心を養うこと」が66.4%と最も多く、次いで、「表現力やコミュニケーション力を伸ばすこと」が39.8%、「学習意欲を高めること」が33.0%となっています。

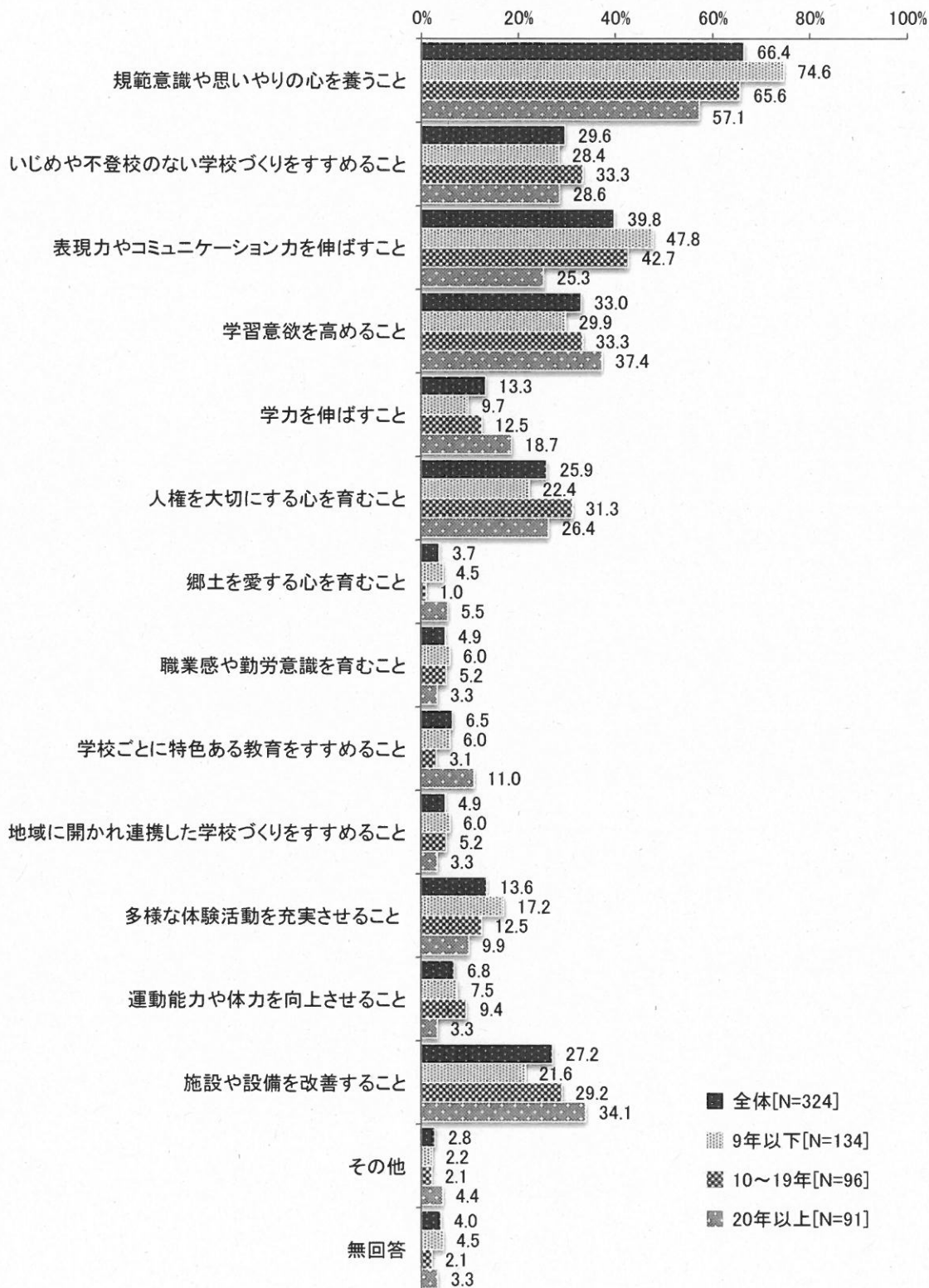
勤務先別でみると、「規範意識や思いやりの心を養うこと」、「学習意欲を高めること」は小学校教員と比較して中学校教員であげる人が多く、「表現力やコミュニケーション力を伸ばすこと」は小学校教員であげる人が比較的多くなっています。

図表 218 これからの学校教育で大切と思うこと [N=324] 【勤務先別】



経験年数別でみると、「規範意識や思いやりの心を養うこと」、「表現力やコミュニケーション力を伸ばすこと」は、9年以下の人であげる人が多くなっています。「学習意欲を高めること」は20年以上の人であげる人が比較的多くなっています。また、「施設や設備を改善すること」は経験年数が長いほど大切と思う人が多くなる傾向となっています。

図表 219 これからの学校教育で大切と思うこと [N=324] 【経験年数別】



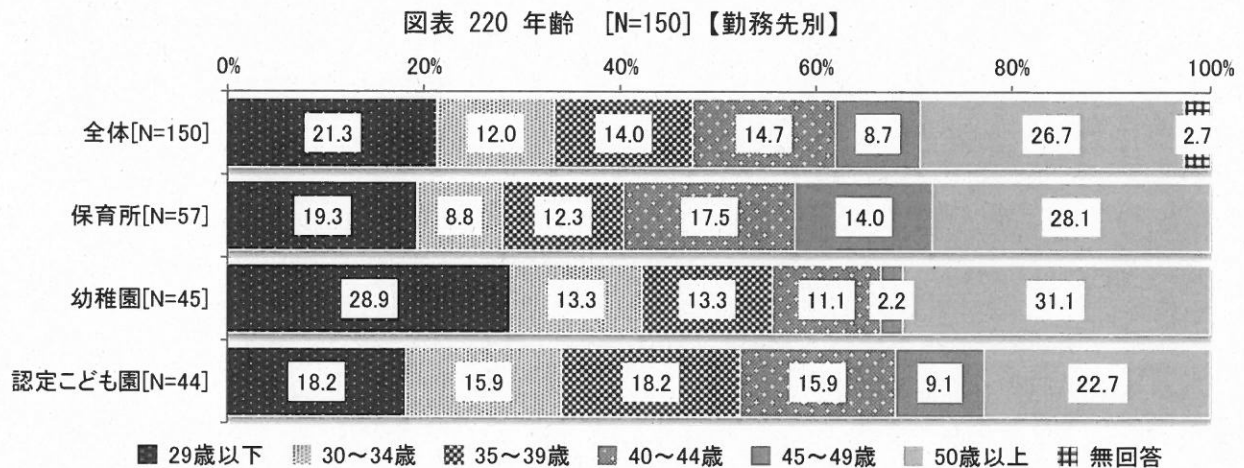
7. 泉大津市の教育に関するアンケート調査 (保育所幼稚園等職員調査)

(1) 回答者属性

① 年齢

問1 あなたの年齢は次のうちどれですか。(ひとつに○)

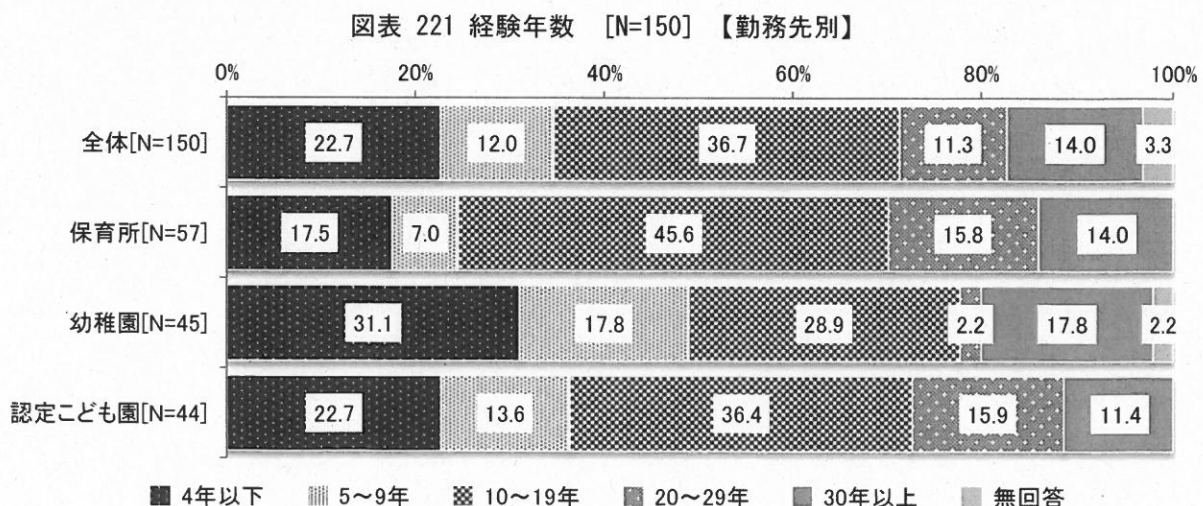
職員の年齢は、「50歳以上」が26.7%、「29歳以下」が21.3%となっており、比較的分散しています。勤務先別では、幼稚園で「29歳以下」と「50歳以上」の人が多くなっています。



② 経験年数

問2 あなたの保育所・幼稚園・認定こども園での経験年数(臨時職員期間を含む)は次のうちどれですか。(ひとつに○)

経験年数は、「10~19年」が36.7%と最も多く、次いで、「4年以下」が22.7%となっています。勤務先別では、幼稚園で「4年以下」と「30年以上」の人が多くなっています。

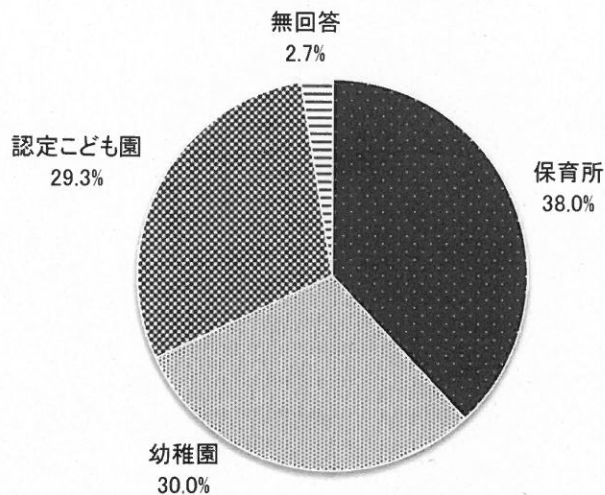


③勤務先

問3 あなたの勤務先はどちらですか。(いずれかに○)

勤務先は、「保育所」が38.0%、「幼稚園」が30.0%、「認定こども園」が29.3%となっています。

図表 222 勤務先 [N=150]

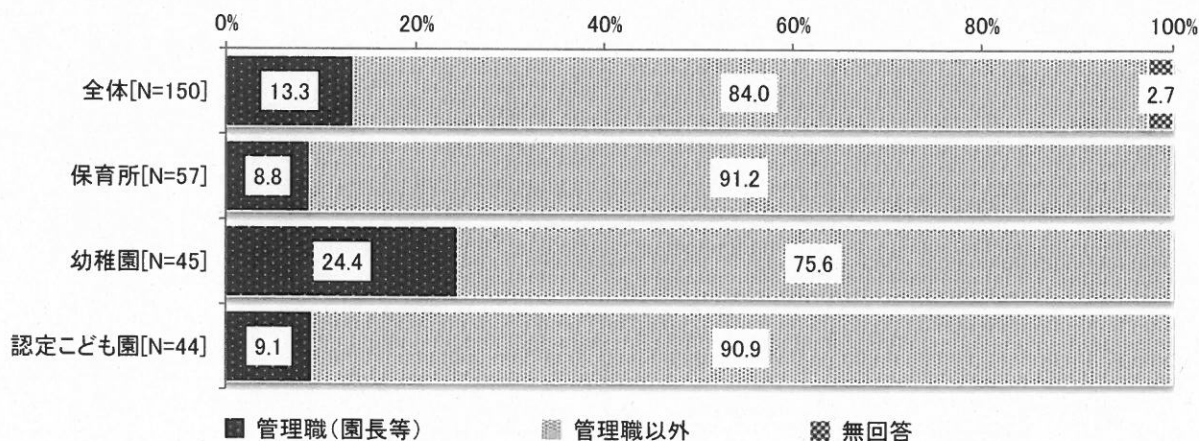


④役職

問4 あなたの役職・勤務形態は次のうちどれですか。(ひとつに○)

役職は、「管理職以外」が84.0%、「管理職(園長等)」が13.3%となっています。

図表 223 役職 [N=150] 【勤務先別】

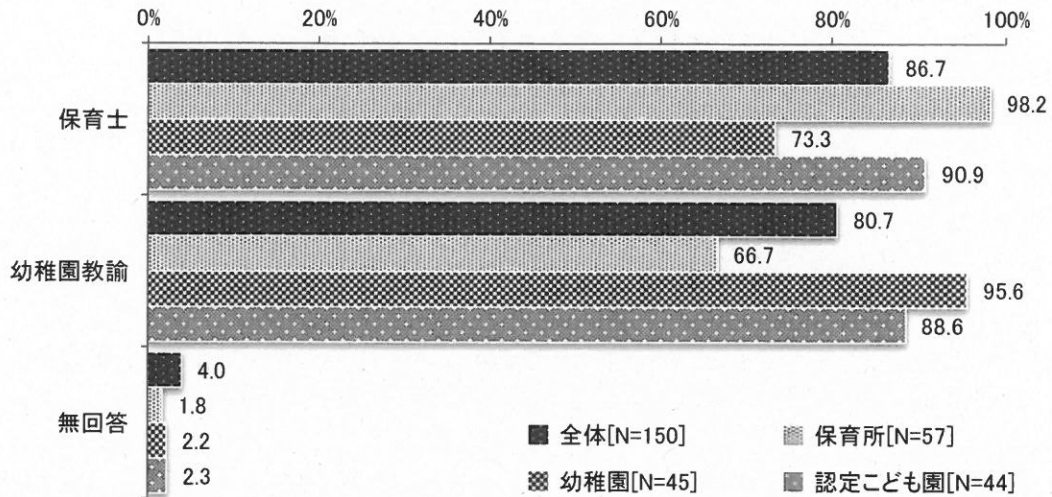


⑤保有資格

問5 あなたの保有する資格を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

保有資格について聞いたところ、「保育士」は86.7%、「幼稚園教諭」は80.7%の人が保有しています。

図表 224 保有資格 [N=150] 【勤務先別】

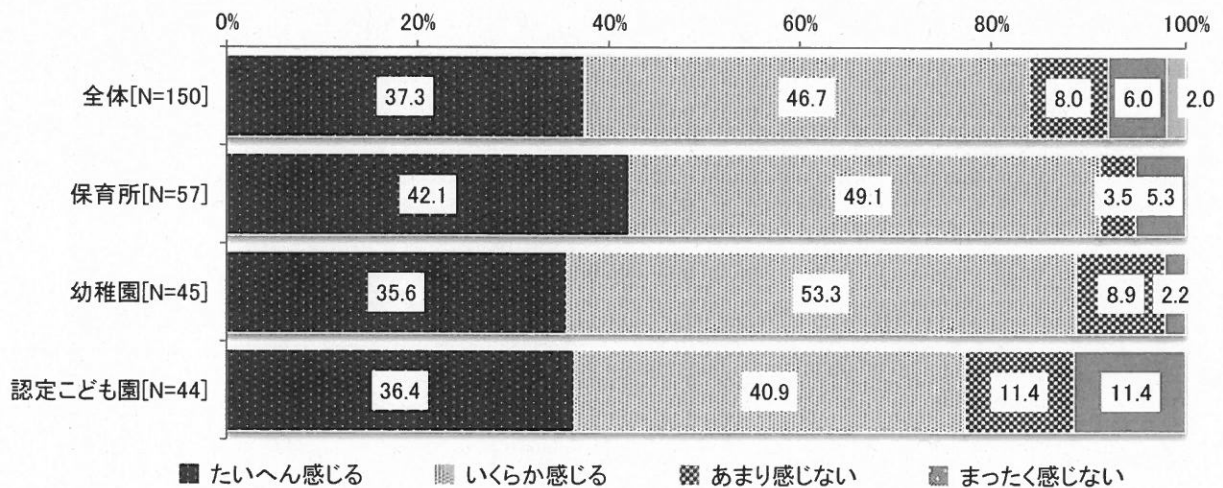


⑥勤務地への愛着

問6 あなたは、勤務先の地域について、愛着を感じますか。(ひとつに○)

勤務地への愛着について聞いたところ、「いづらか感じる」が46.7%、「たいへん感じる」が37.3%となっており、愛着を感じている人が多くなっています。

図表 225 勤務地への愛着 [N=150] 【勤務先別】



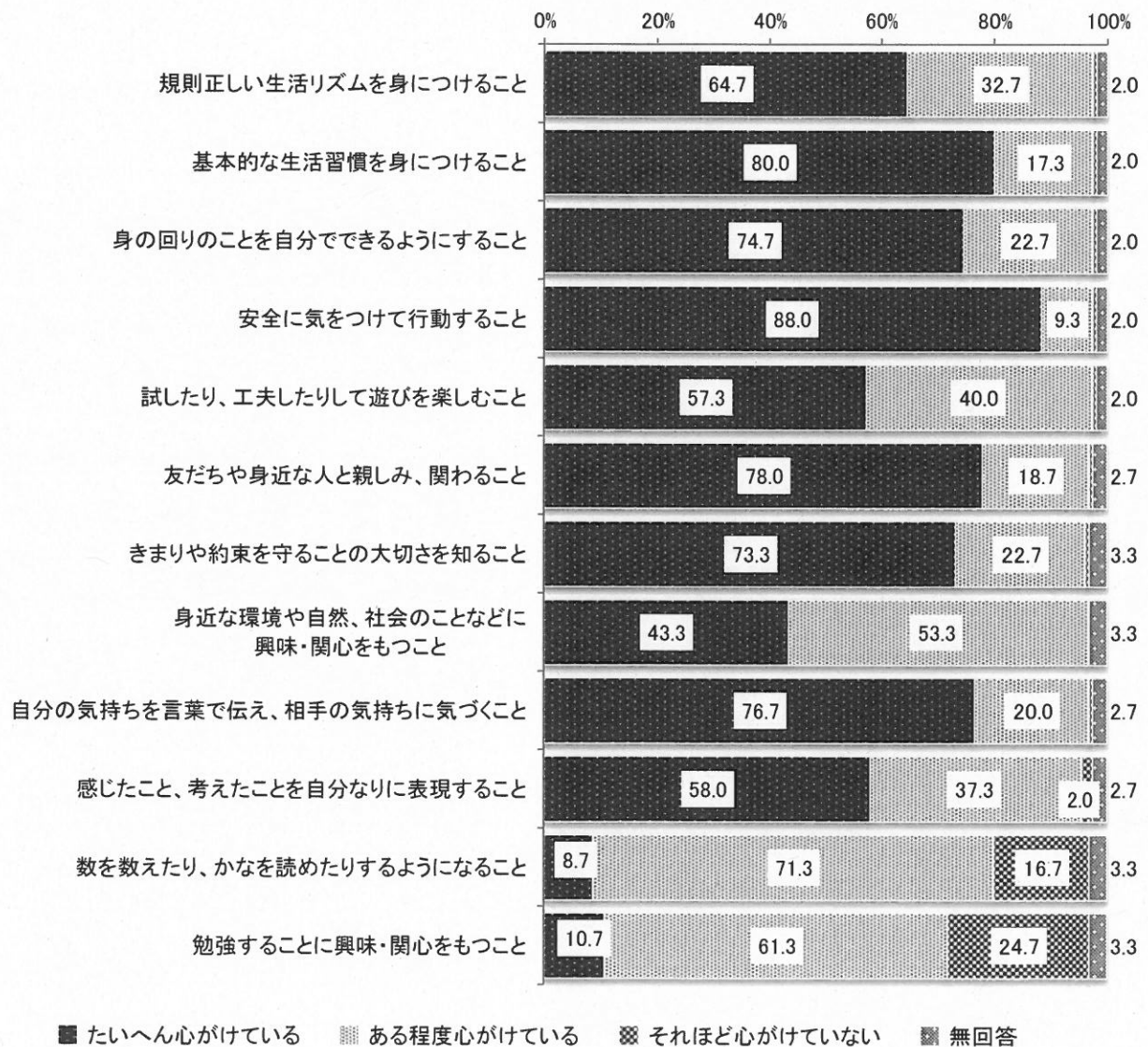
(2) 就学前教育・保育について

①保育・教育で心がけていること

問7 あなたは、ふだんの保育・教育の中で、子どもが次のようなことを身につけるようにどの程度心がけていますか。（各項目それぞれひとつに○）

保育・教育の各側面に関し、心がけていることについて聞いたところ、多くの項目で「たいへん心がけている」という人が多くなっています。「数を数えたり、かなを読めたりするようになること」、「勉強することに興味・関心をもつこと」については、「ある程度心がけている」が多く、「たいへん心がけている」は少なくなっています。

図表 226 保育・教育で心がけていること [N=150]

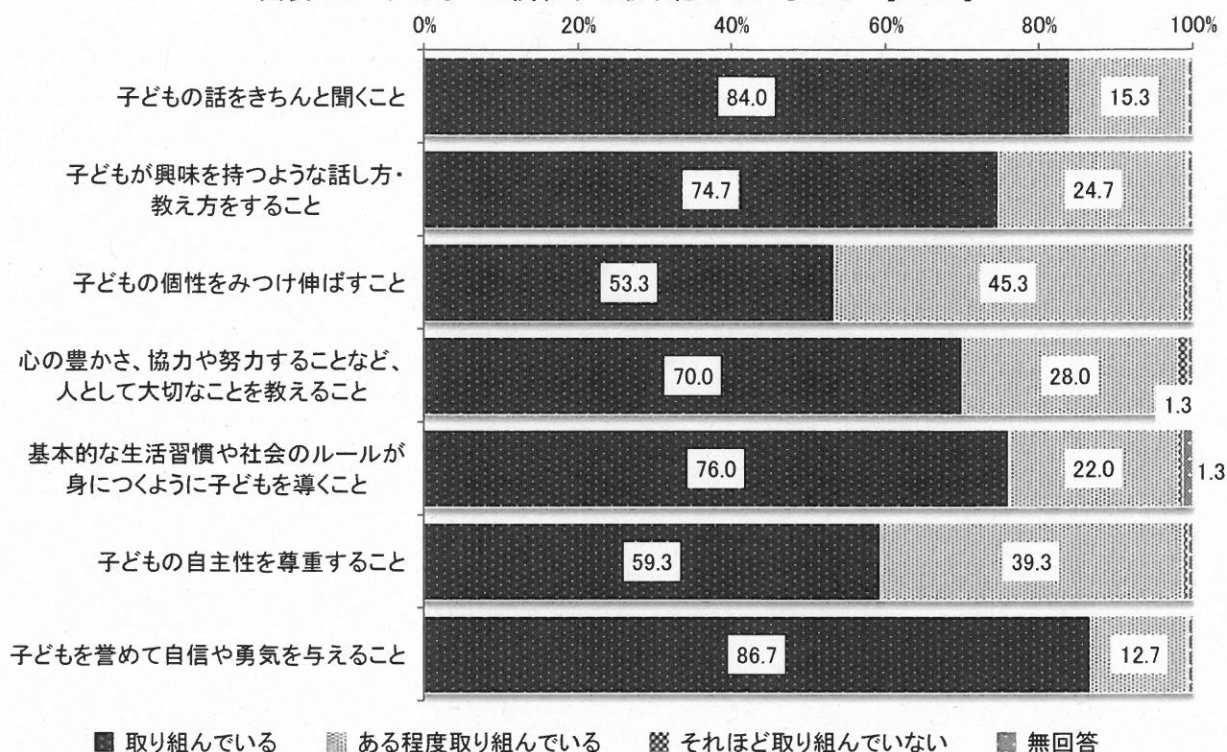


②子どもへの関わりで取り組んでいること

問 8 あなたは、子どもへの関わり方として、次のようなことにどのくらい取り組んでいますか。
(各項目それぞれひとつに○)

子どもへの関わりで取り組んでいることについて聞いたところ、いずれも「取り組んでいる」という人が多くなっています。

図表 227 子どもへの関わりで取り組んでいること [N=150]

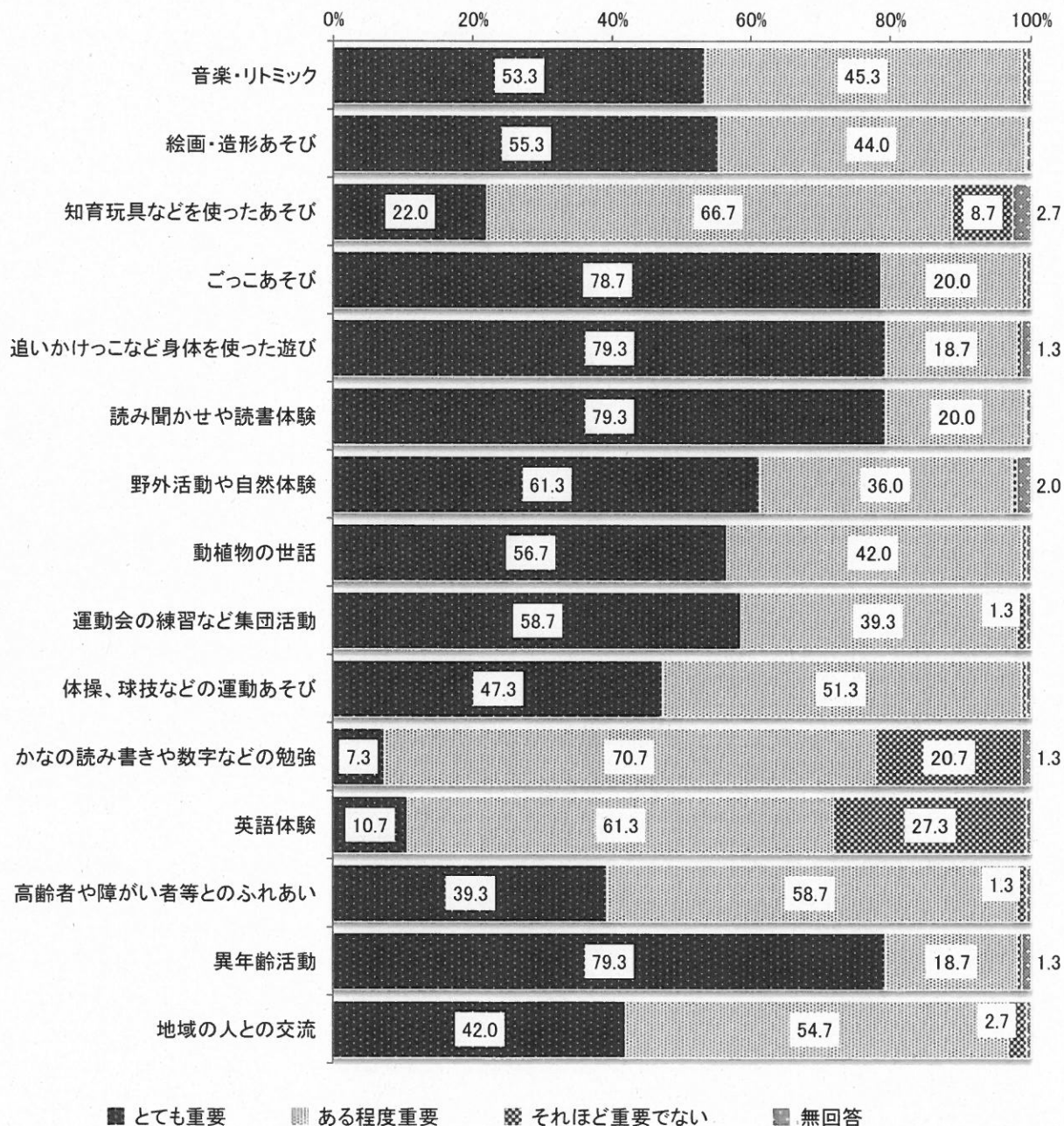


③保育・教育で大切な活動

問9 あなたは、保育所・幼稚園・認定こども園での保育・教育に関して、子どもにどんな活動をさせることが大切だと思いますか。（各項目それぞれひとつに〇）

保育・教育で大切な活動については、「追いかっこなど身体を使った遊び」、「読み聞かせや読書体験」、「異年齢活動」、「ごっこあそび」を「とても重要」とする人が多くなっています。また、「かなの読み書きや数字などの勉強」、「知育玩具などを使ったあそび」、「英語体験」に関しては、「ある程度重要」とする人が多くなっています。

図表 228 保育・教育で大切な活動 [N=150]



(3) 職務の状況について

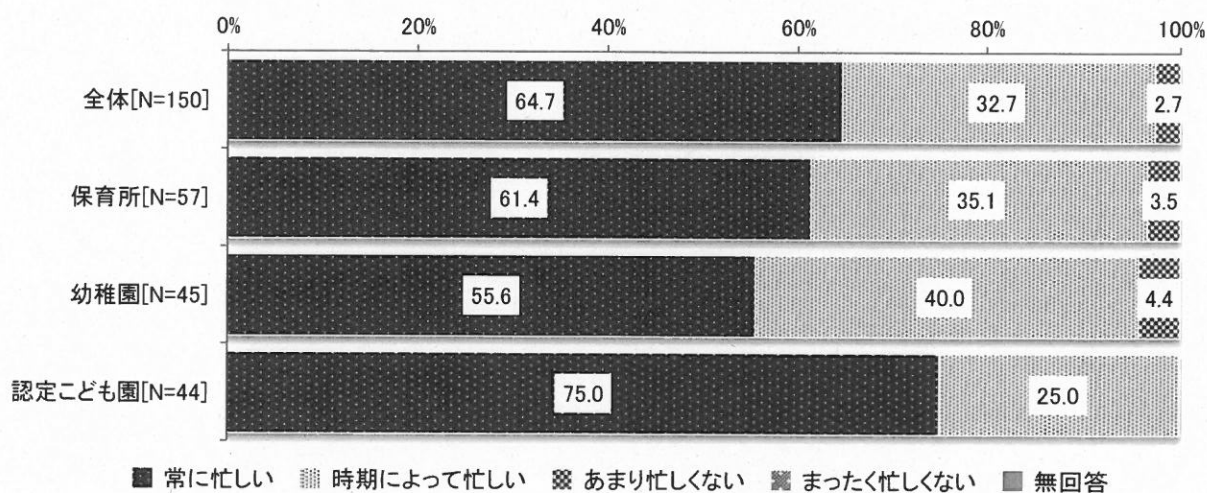
①職務の忙しさ

問 10 あなたは、ご自身の職務について、どのくらい忙しいと感じていますか。（ひとつに〇）

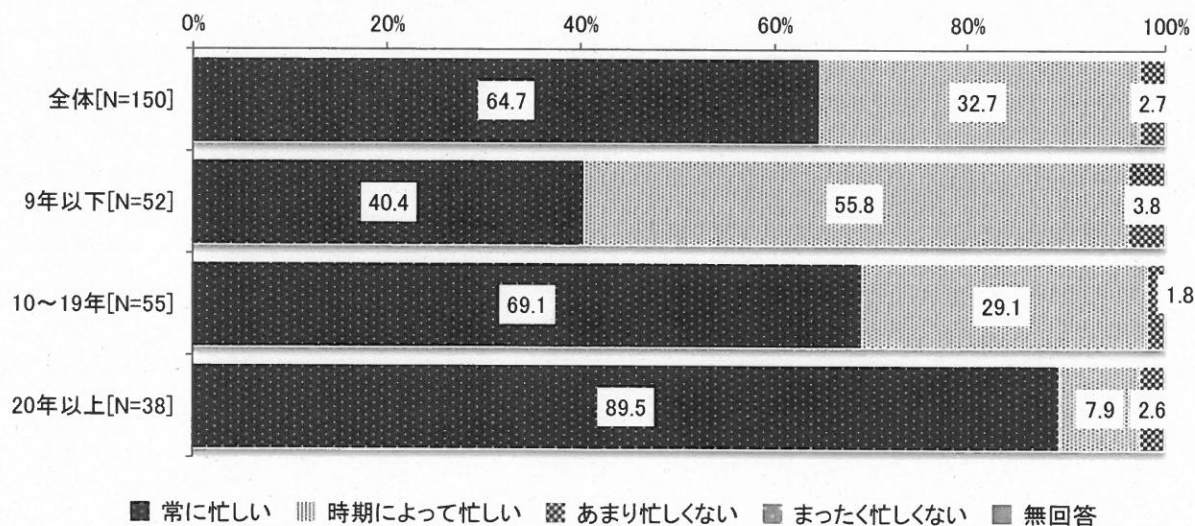
職務の忙しさについて聞いたところ、「常に忙しい」が64.7%、「時期によって忙しい」が32.7%となっており、多くの方が忙しさを感じています。

勤務先別では、認定こども園で「常に忙しい」という人が多くなっています。経験年数別では、年数が上がるにつれ、「常に忙しい」という人が多くなっています。

図表 229 職務の忙しさ [N=150] 【勤務先別】



図表 230 職務の忙しさ [N=150] 【経験年数別】

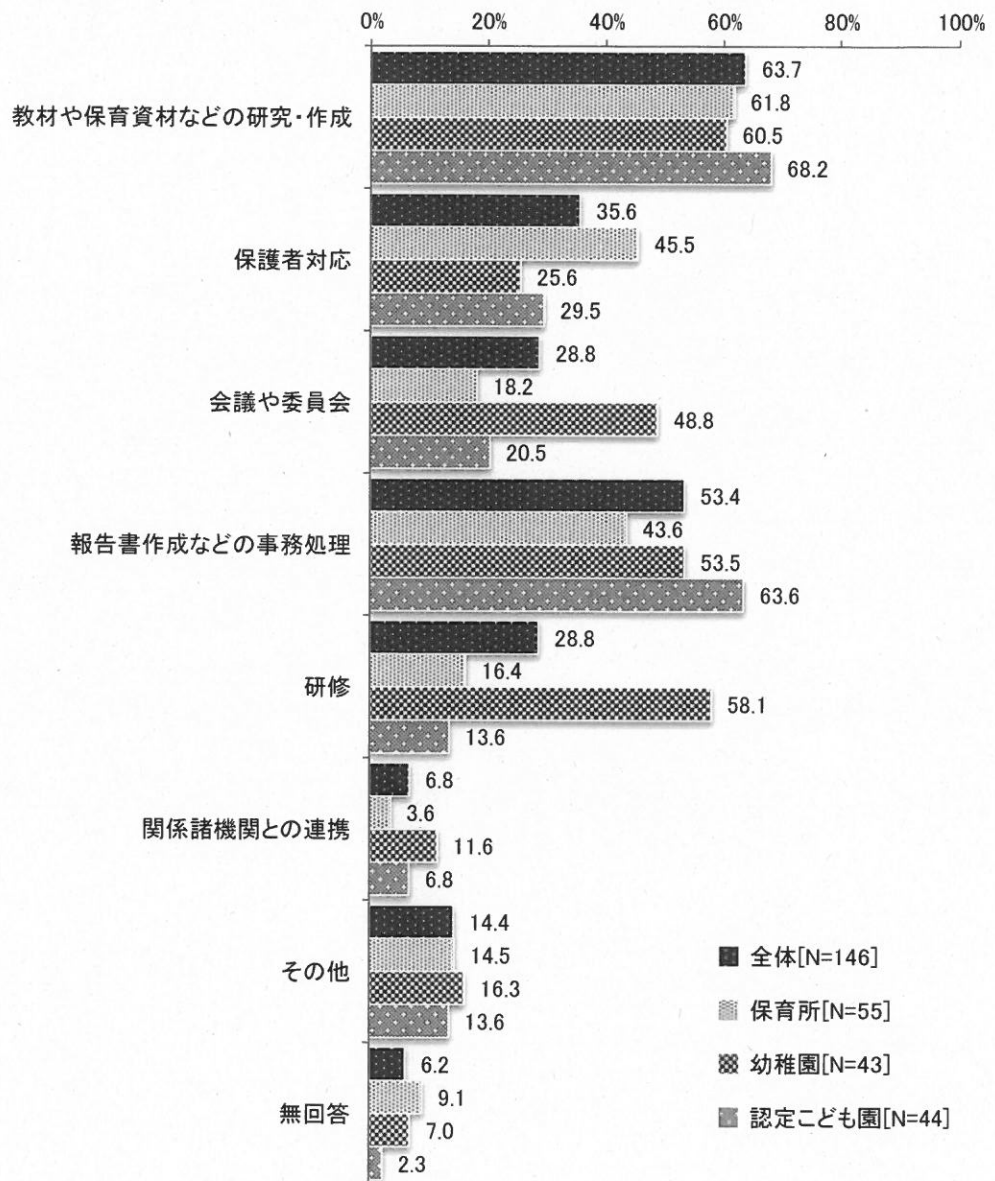


①-1 特に時間を要している業務

問 11 前問（問 10）で「常に忙しい」「時期によって忙しい」とお答えの方にお聞きします。子どもとの関わり以外の業務の中で、特に時間を要している業務は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

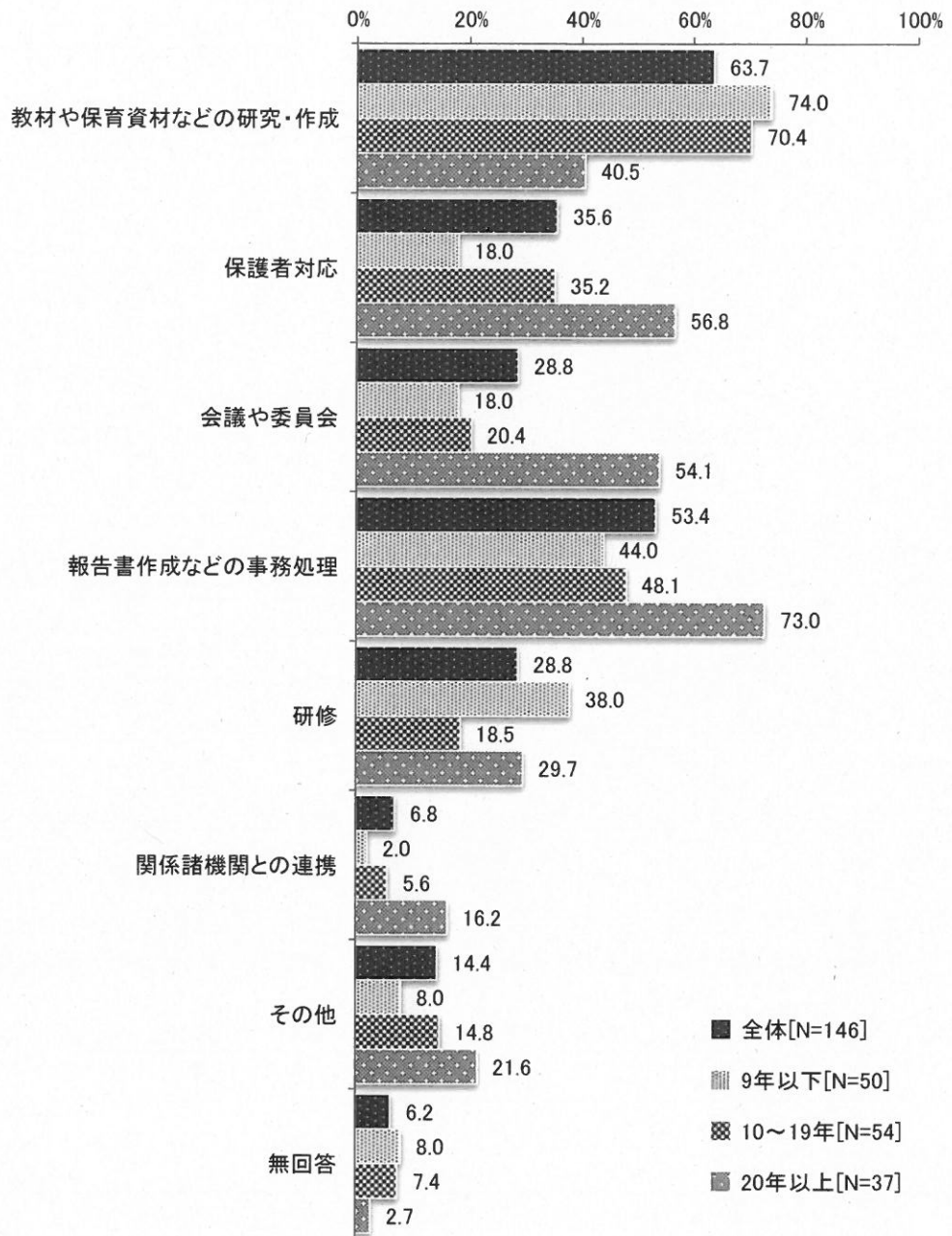
職務の忙しさについて「常に忙しい」、「時期によって忙しい」と回答した人に、特に時間を要している業務について聞いたところ、「教材や保育資材などの研究・作成」が63.7%と最も多く、次いで、「報告書作成などの事務処理」が53.4%、「保護者対応」が35.6%となっています。勤務先別では、幼稚園で「研修」をあげる人が他と比べて多くなっています。

図表 231 特に時間を要している業務 [N=146] 【勤務先別】



経験年数別でみると、20年以上の人で、「報告書作成などの事務処理」、「保護者対応」、「会議や委員会」をあげる人が他と比べて多くなっています。

図表 232 特に時間を要している業務 [N=146] 【経験年数別】

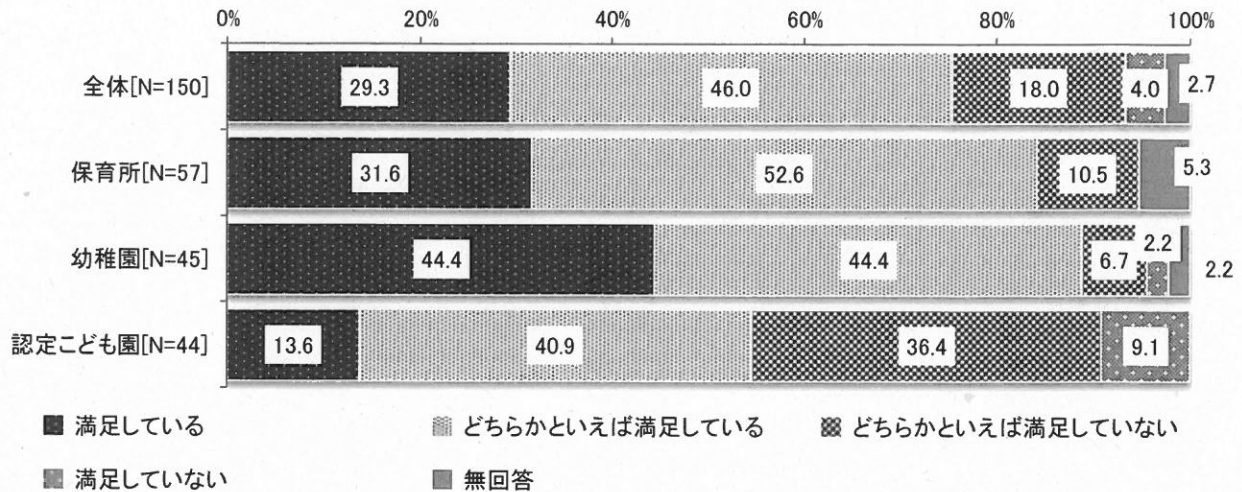


②勤務の満足度

問 12 あなたは、今の園・所での勤務について、どの程度満足していますか。（ひとつに○）

勤務の満足度について聞いたところ、「どちらかといえば満足している」が 46.0%、「満足している」が 29.3%となっており、多くの人々が満足を感じています。

図表 233 勤務の満足度 [N=150] 【勤務先別】

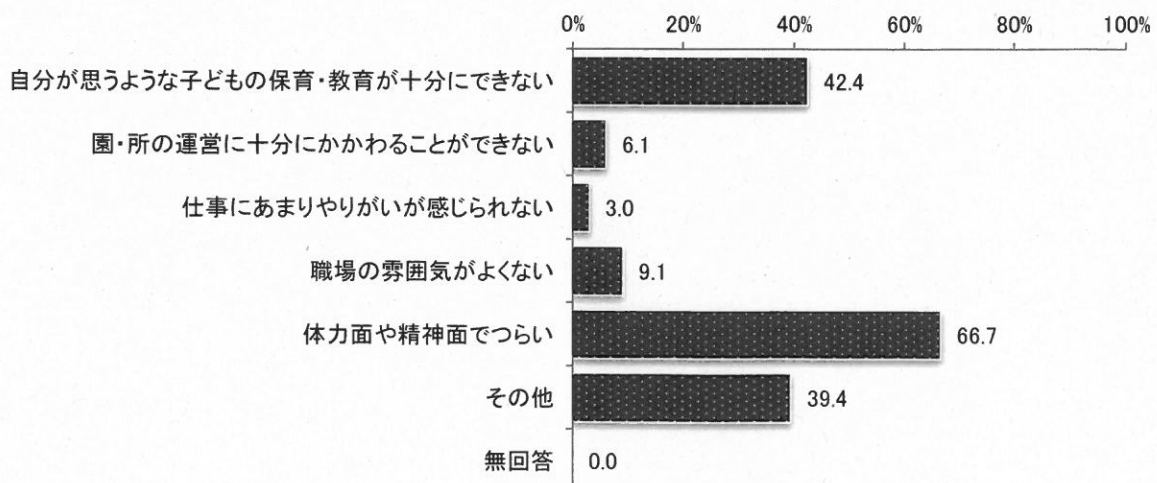


②-1 満足していない理由

問 13 前問（問 12）で「どちらかといえば満足していない」「満足していない」とお答えの方にお聞きします。満足していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

満足していないと回答した人に、その理由について聞いたところ、「体力面や精神面でつらい」が 66.7%と最も多く、次いで、「自分が思うような子どもの保育・教育が十分にできない」が 42.4%となっています。

図表 234 満足していない理由 [N=33]



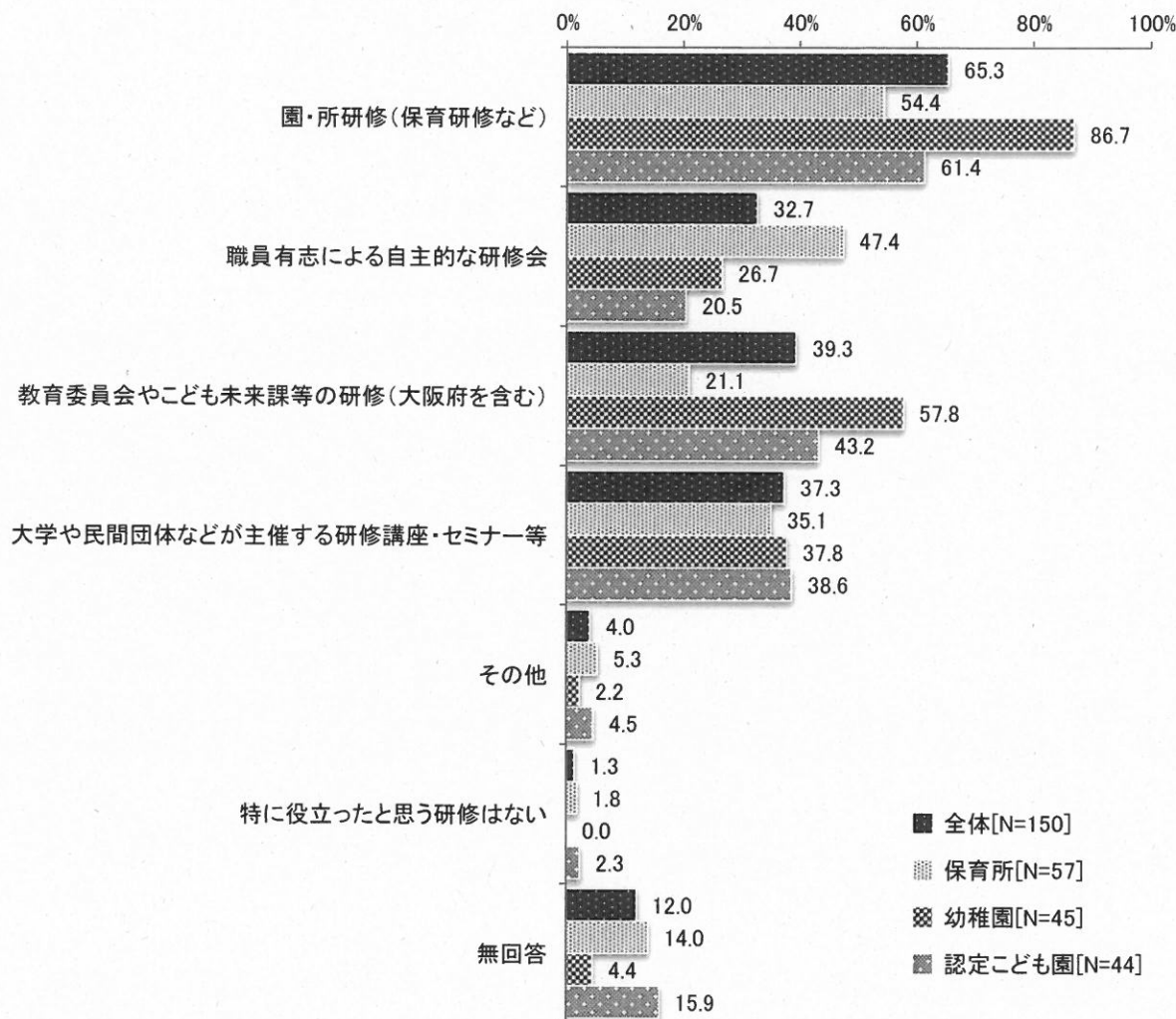
③ 役立っている研修

問 14 あなたは、ご自身の職務能力の向上に関して、どのような研修が役立っていると思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

役立っている研修としては、「園・所研修（保育研修など）」をあげる人が65.3%と最も多く、次いで、「教育委員会やこども未来課等の研修（大阪府を含む）」が39.3%、「大学や民間団体などが主催する研修講座・セミナー等」が37.3%となっています。

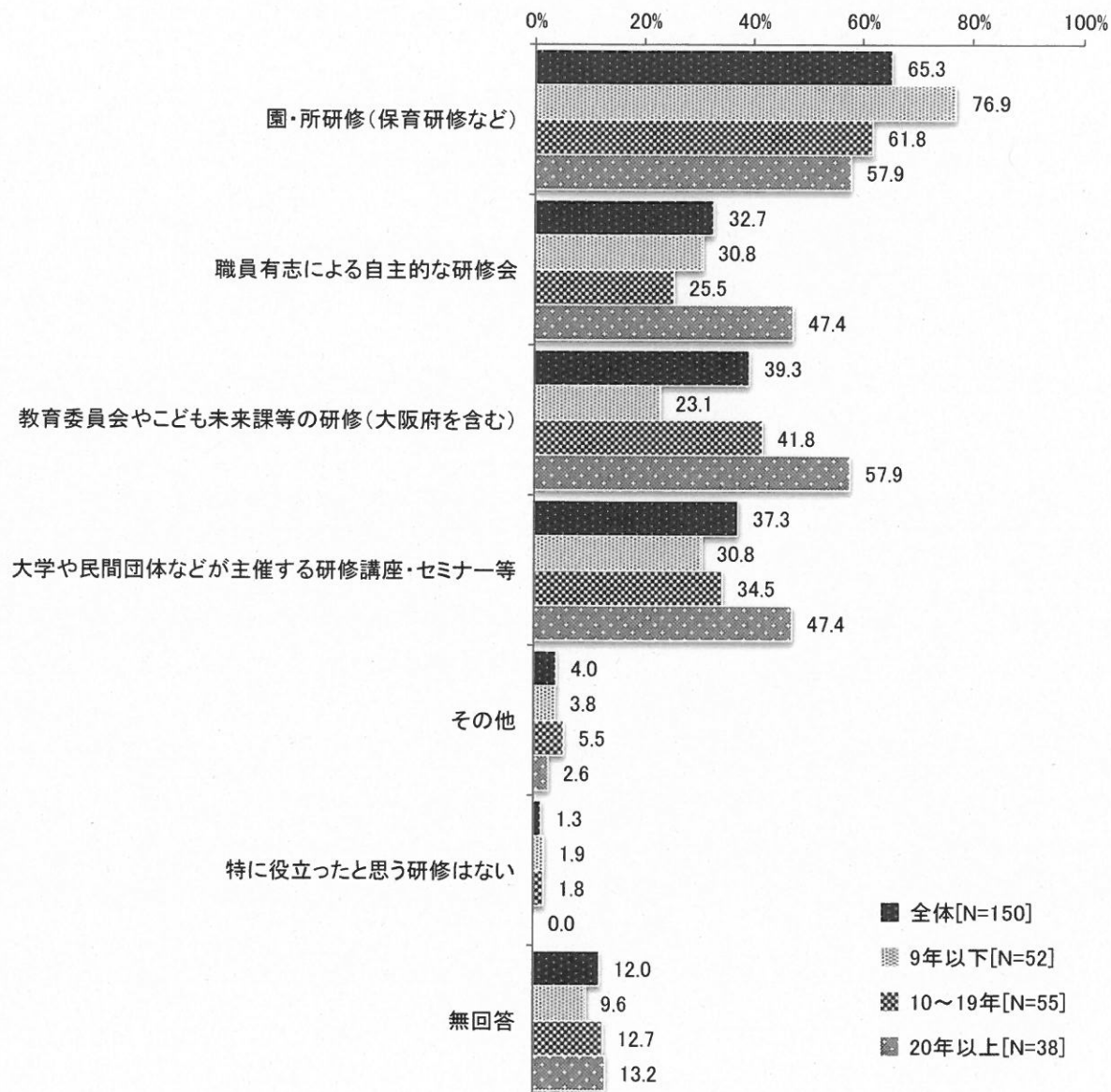
勤務先別でみると、幼稚園で「園・所研修（保育研修など）」をあげる人が多くなっています。

図表 235 役立っている研修 [N=150] 【勤務先別】



経験年数別でみると、9年以下の人で、「園・所研修（保育研修など）」をあげる人が多くなっています。また、20年以上の人では、「教育委員会や子ども未来課等の研修（大阪府を含む）」をあげる人が他と比べて多くなっています。

図表 236 役立つ研修 [N=150] 【経験年数別】



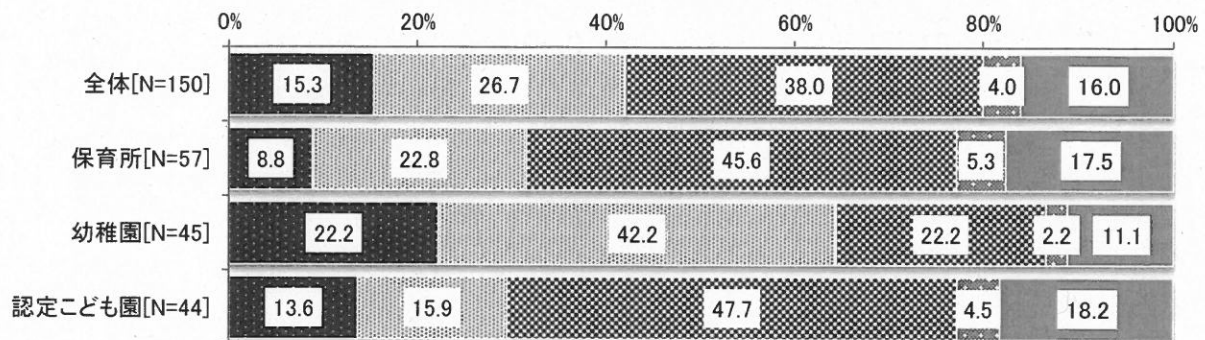
④研修回数についての感想

問 15 研修の回数などについてはどう思いますか。(ひとつに〇)

研修回数については、「研修の回数などはちょうどよいと思う」が 38.0%となっています。また、「受けなければならない研修がやや多いと思う」が 26.7%、「受けなければならない研修がかなり多いと思う」が 15.3%で、合わせて 42.0%となっており、多いと感じる人と、ちょうどよいと感じる人がほぼ同じ程度となっています。

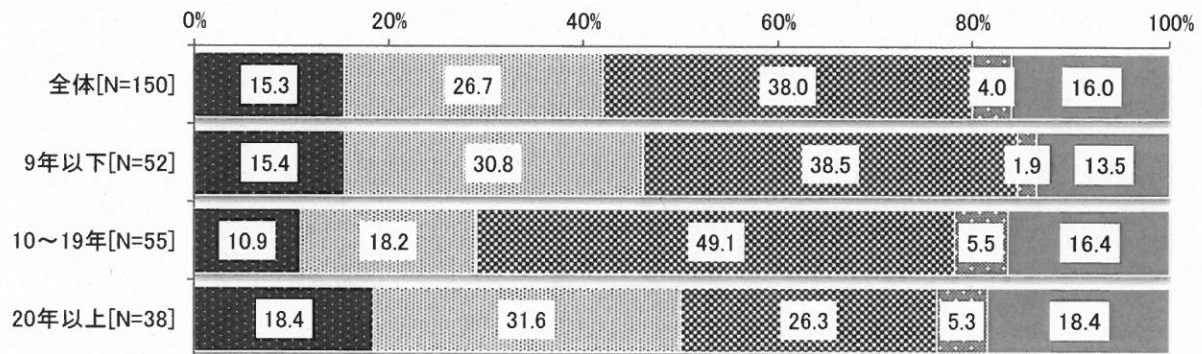
勤務先別でみると、幼稚園で、研修が多いと感じている人が多くなっています。経験年数別では、10～19年の人で、ちょうどよいと感じている人が多くなっています。

図表 237 研修回数についての感想 [N=150] 【勤務先別】



- 受けなければならない研修がかなり多いと思う
- ▨ 受けなければならない研修がやや多いと思う
- ▩ 研修の回数などはちょうどよいと思う
- もっと研修回数などを増やした方がよいと思う
- 無回答

図表 238 研修回数についての感想 [N=150] 【経験年数別】



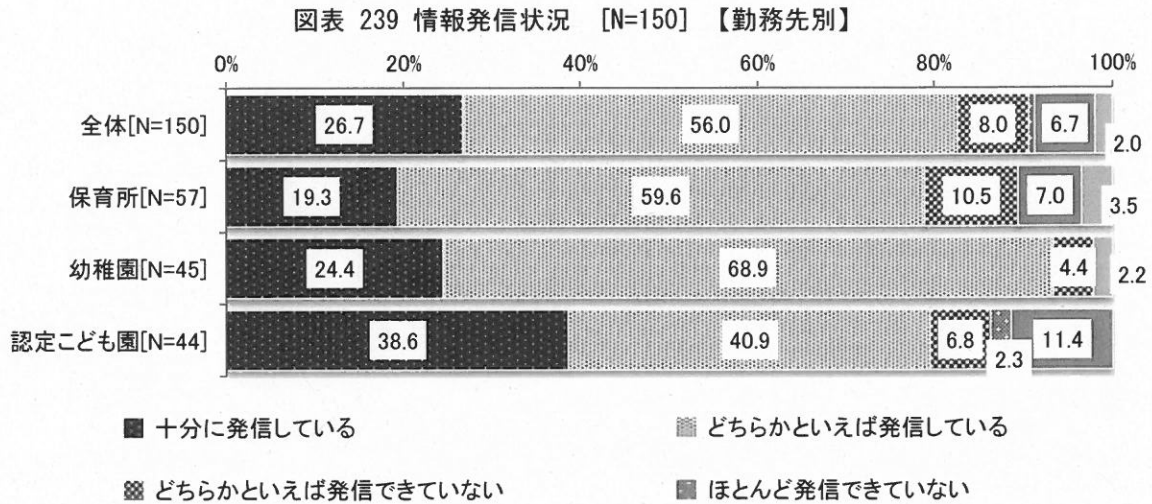
- 受けなければならない研修がかなり多いと思う
- ▨ 受けなければならない研修がやや多いと思う
- ▩ 研修の回数などはちょうどよいと思う
- もっと研修回数などを増やした方がよいと思う
- 無回答

(4) 保護者・地域との関わりについて

①情報発信状況

問 16 あなたの園・所では、子どもの生活の様子や運営方針などの情報を、保護者や地域にどのくらい発信していると思いますか。(ひとつに〇)

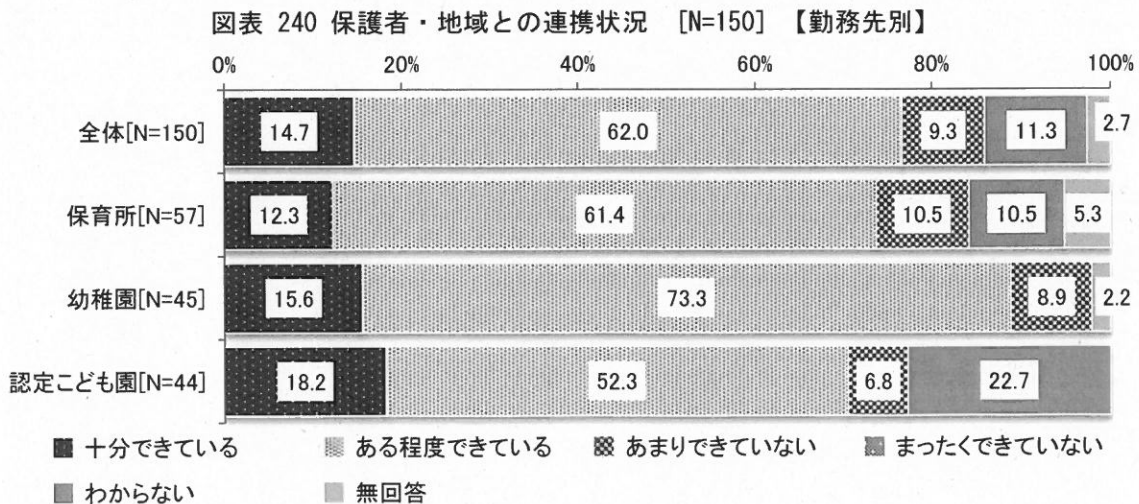
園・所の情報発信状況について聞いたところ、「どちらかといえば発信している」が56.0%、「十分に発信している」が26.7%となっており、発信できていると感じている人が多くなっています。



②保護者・地域との連携状況

問 17 あなたの園・所では、運営に関して、保護者、地域の連携ができていると思いますか。(ひとつに〇)

保護者・地域との連携状況については、「ある程度できている」が62.0%、「十分できている」が14.7%となっており、連携できていると感じている人が多くなっています。



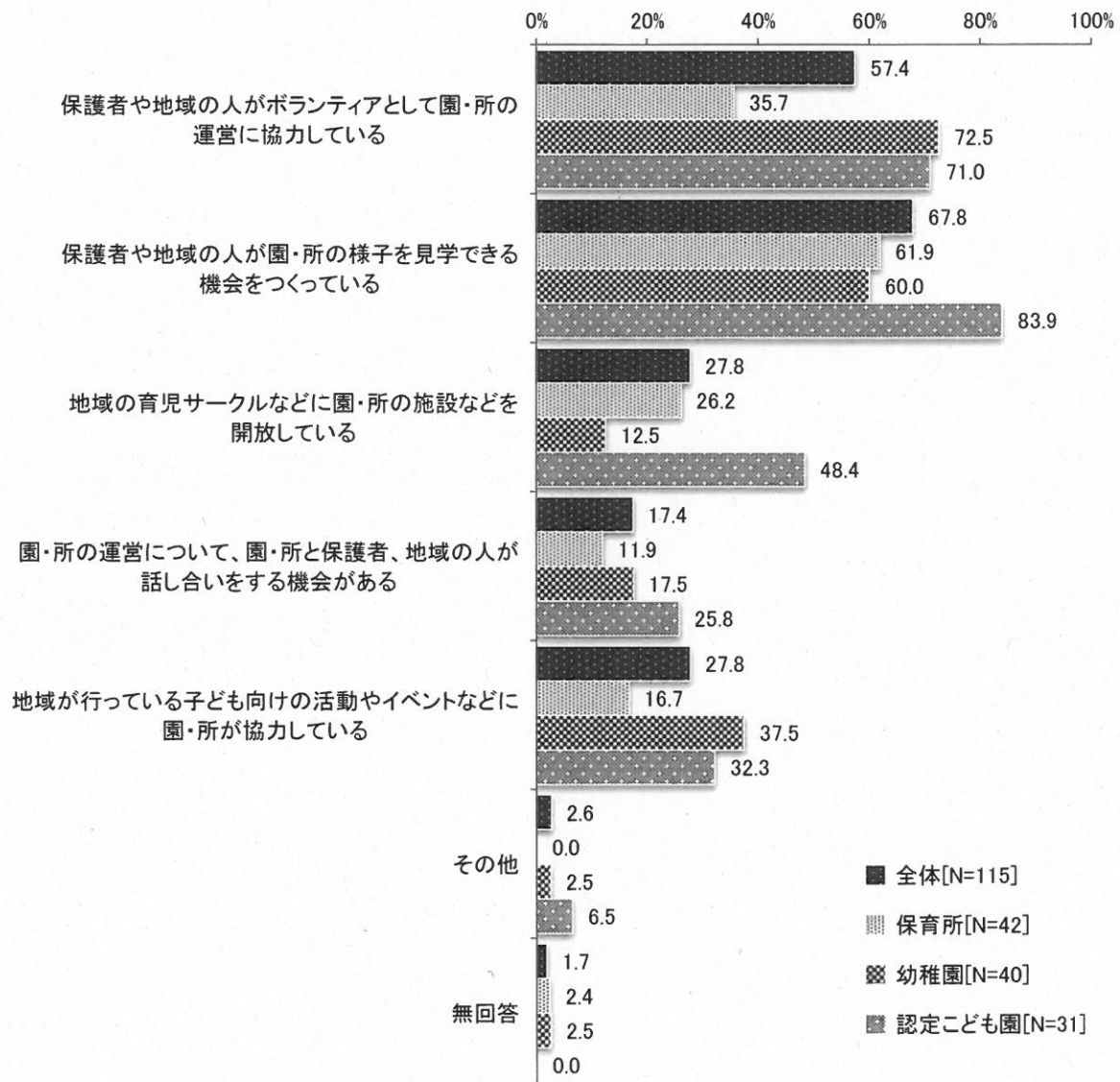
②-1 特に連携できているところ

問 18 前問（問 17）で、「十分できている」「ある程度できている」とお答えの方にお聞きします。特にどこが連携できていると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

保護者・地域との連携ができていると回答した人に、特に連携できているところについて聞いたところ、「保護者や地域の方が園・所の様子を見学できる機会をつくっている」が 67.8%と最も多く、次いで、「保護者や地域の方がボランティアとして園・所の運営に協力している」が 57.4%となっています。

勤務先別でみると、認定こども園で「保護者や地域の方が園・所の様子を見学できる機会をつくっている」をあげる人が多くなっています。

図表 241 特に連携できているところ [N=115] 【勤務先別】



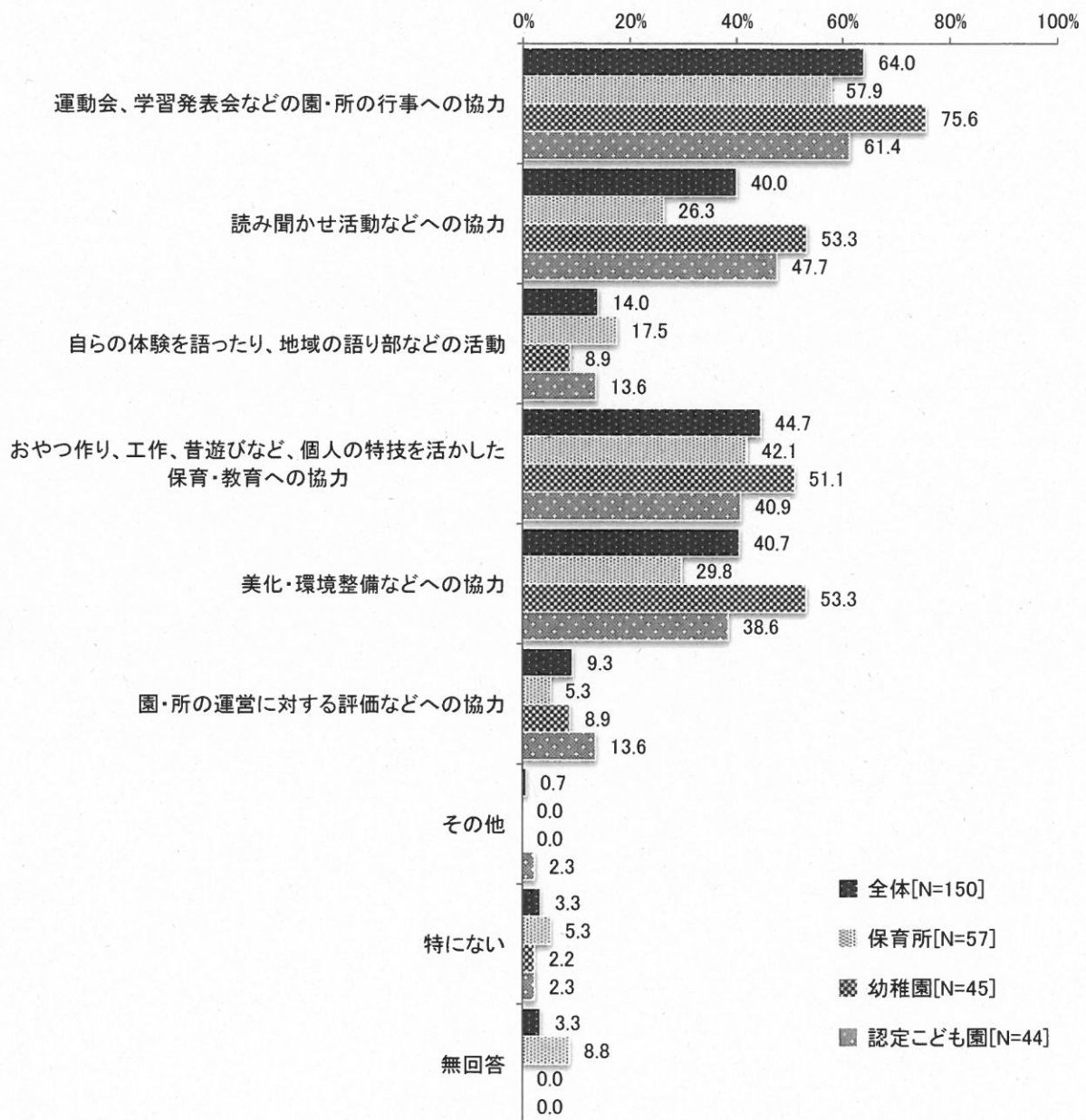
③園・所運営で保護者・地域の支援が望まれること

問 19 あなたは、園・所の運営に関して、特にどのような保護者、地域の支援が望まれると思いますか。（3つまで選んで○）

園・所運営で保護者・地域の支援が望まれることについて聞いたところ、「運動会、学習発表会などの園・所の行事への協力」が64.0%と最も多く、次いで、「おやつ作り、工作、昔遊びなど、個人の特技を活かした保育・教育への協力」が44.7%となっています。

勤務先別でみると、幼稚園で、「運動会、学習発表会などの園・所の行事への協力」をあげる人が多くなっています。

図表 242 園・所運営で保護者・地域の支援が望まれること [N=150] 【勤務先別】



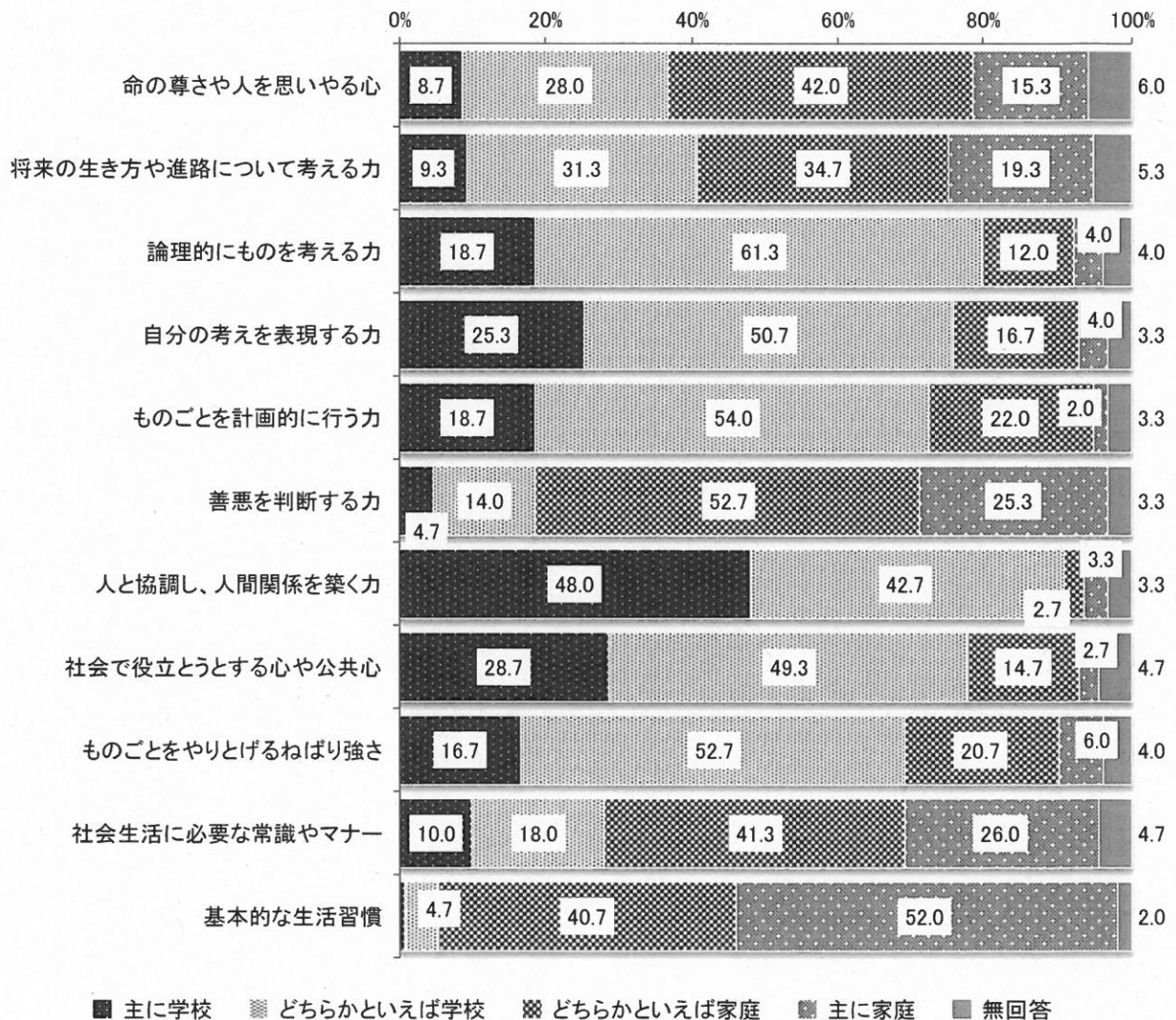
(5) 子どもの教育に関する学校・家庭・地域の役割について

①学校・家庭で学ぶべきこと

問 20 あなたは、子どもが次のような力や態度を身につけるためには、主に幼稚園等も含めた学校で学ぶべきと思いますか、家庭で身につけるべきと思いますか。（各項目それぞれひとつに○）

学校・家庭で学ぶべき項目について聞いたところ、「人と協調し、人間関係を築く力」、「社会で役立つとする心や公共心」、「自分の考えを表現する力」、「論理的にものを考える力」は学校をあげる人が多くなっています。また、「基本的な生活習慣」、「善悪を判断する力」、「社会生活に必要な常識やマナー」は家庭をあげる人が多くなっています。

図表 243 学校・家庭で学ぶべきこと [N=150]

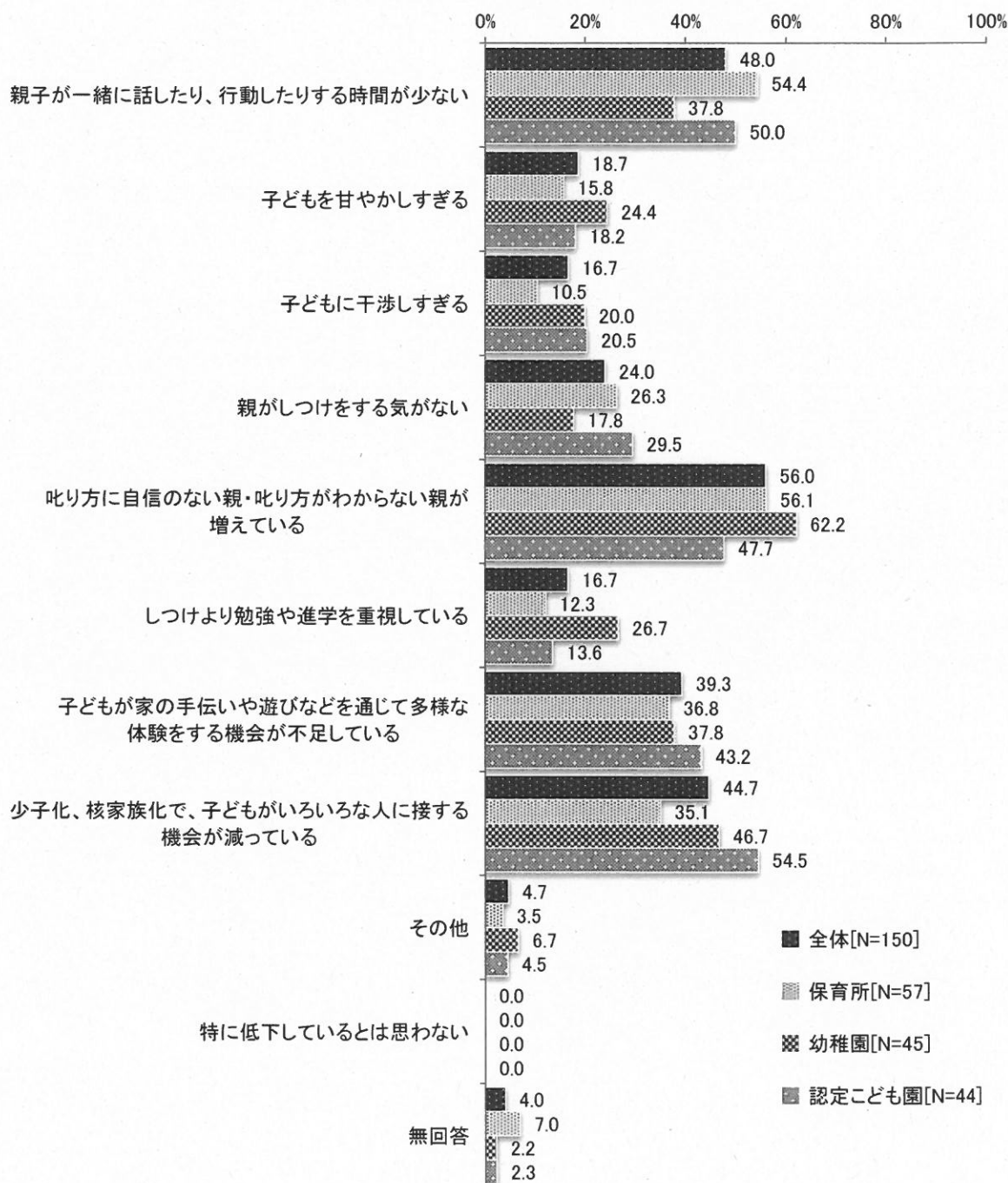


②家庭の教育力低下の原因

問 21 家庭のしつけ・教育力が一般的に低下していると言われていますが、あなたは、何に原因があると思いますか。（3つまで選んで○）

家庭の教育力が低下していることで、その原因と思うことを聞いたところ、「叱り方に自信のない親・叱り方がわからない親が増えている」が56.0%と最も多く、次いで、「親子が一緒に話したり、行動したりする時間が少ない」が48.0%、「少子化、核家族化で、子どもがいろいろな人に接する機会が減っている」が44.7%となっています。

図表 244 家庭の教育力低下の原因 [N=150] 【勤務先別】

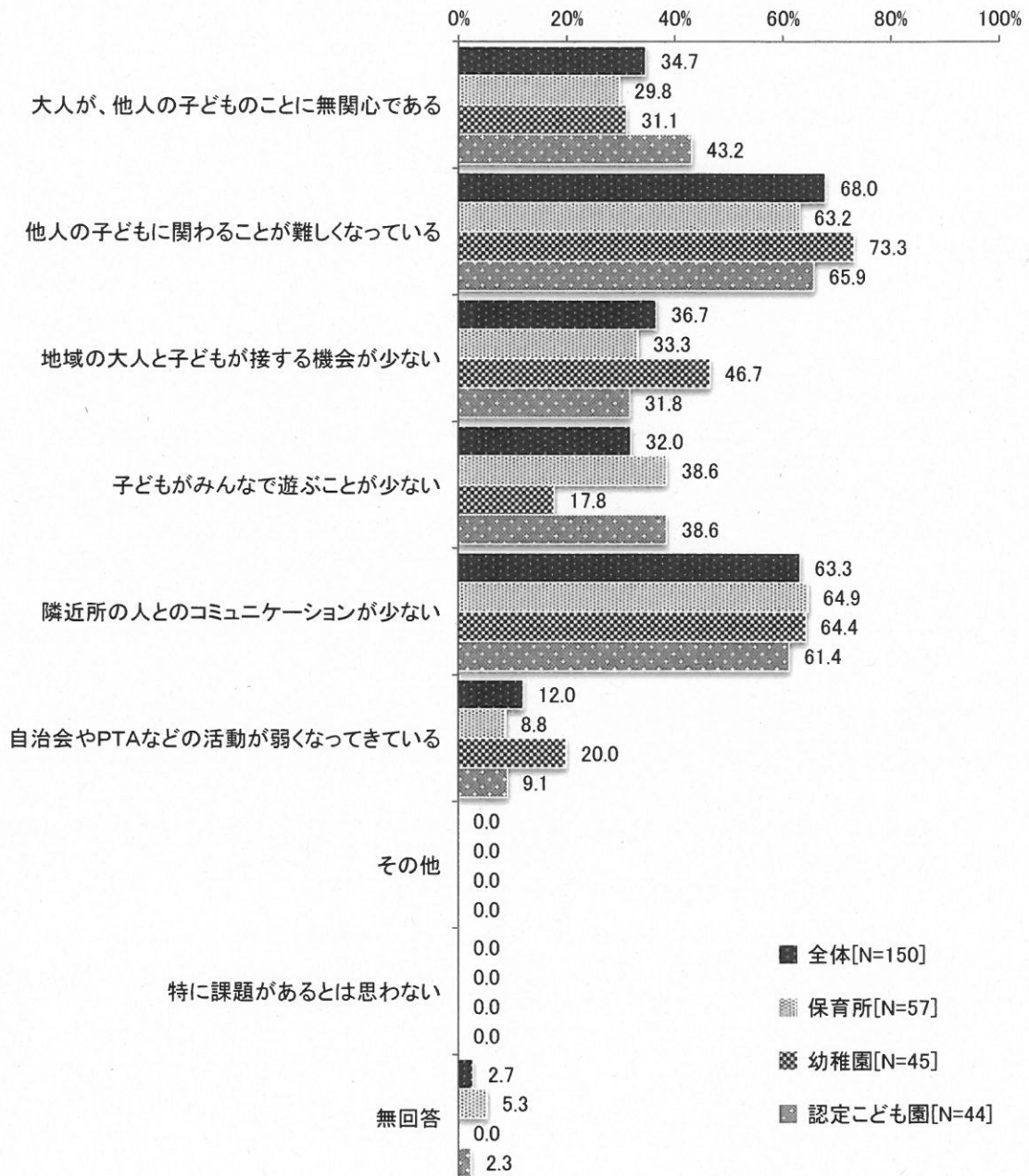


③子どもの教育に関する地域の課題

問 22 地域には、子どもの教育に関して、どのような課題があると思いますか。（3つまで選んで○）

子どもの教育に関する地域の課題について聞いたところ、「他人の子どもに関わることが難しくなっている」が68.0%と最も多く、次いで、「隣近所の人とのコミュニケーションが少ない」が63.3%となっています。

図表 245 子どもの教育に関する地域の課題 [N=150] 【勤務先別】



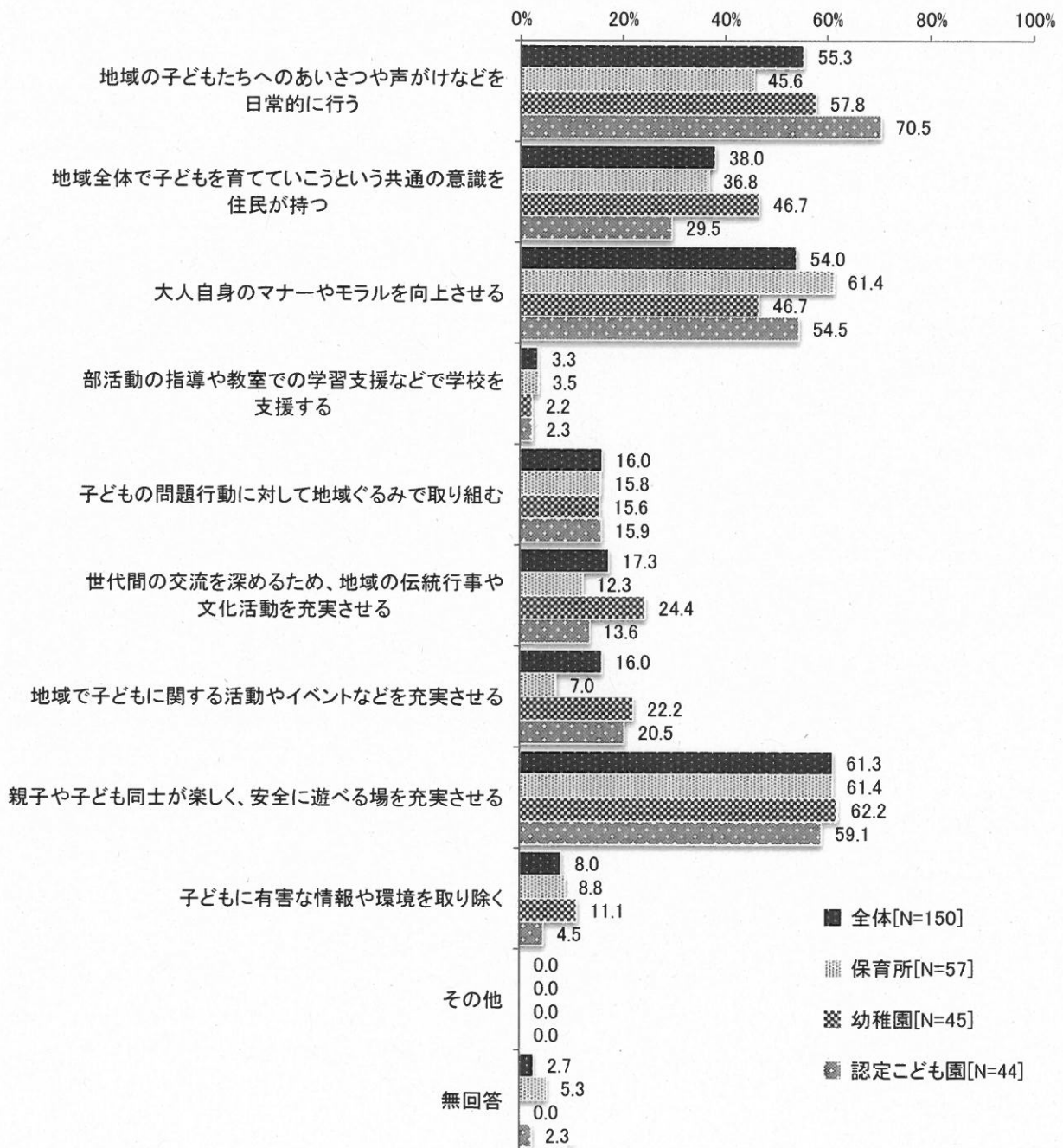
④地域で取り組むべきこと

問 23 あなたは、子どもたちを地域全体で育てていくために、地域でどのようなことに力を入れて取り組むべきだと思いますか。（3つまで選んで○）

地域で取り組むべきことについて聞いたところ、「親子や子ども同士が楽しく、安全に遊べる場を充実させる」が61.3%と最も多く、次いで、「地域の子どもたちへのあいさつや声かけなどを日常的に行う」が55.3%、「大人自身のマナーやモラルを向上させる」が54.0%となっています。

勤務先別でみると、認定こども園で、「地域の子どもたちへのあいさつや声かけなどを日常的に行う」をあげる人が多くなっています。

図表 246 地域で取り組むべきこと [N=150] 【勤務先別】



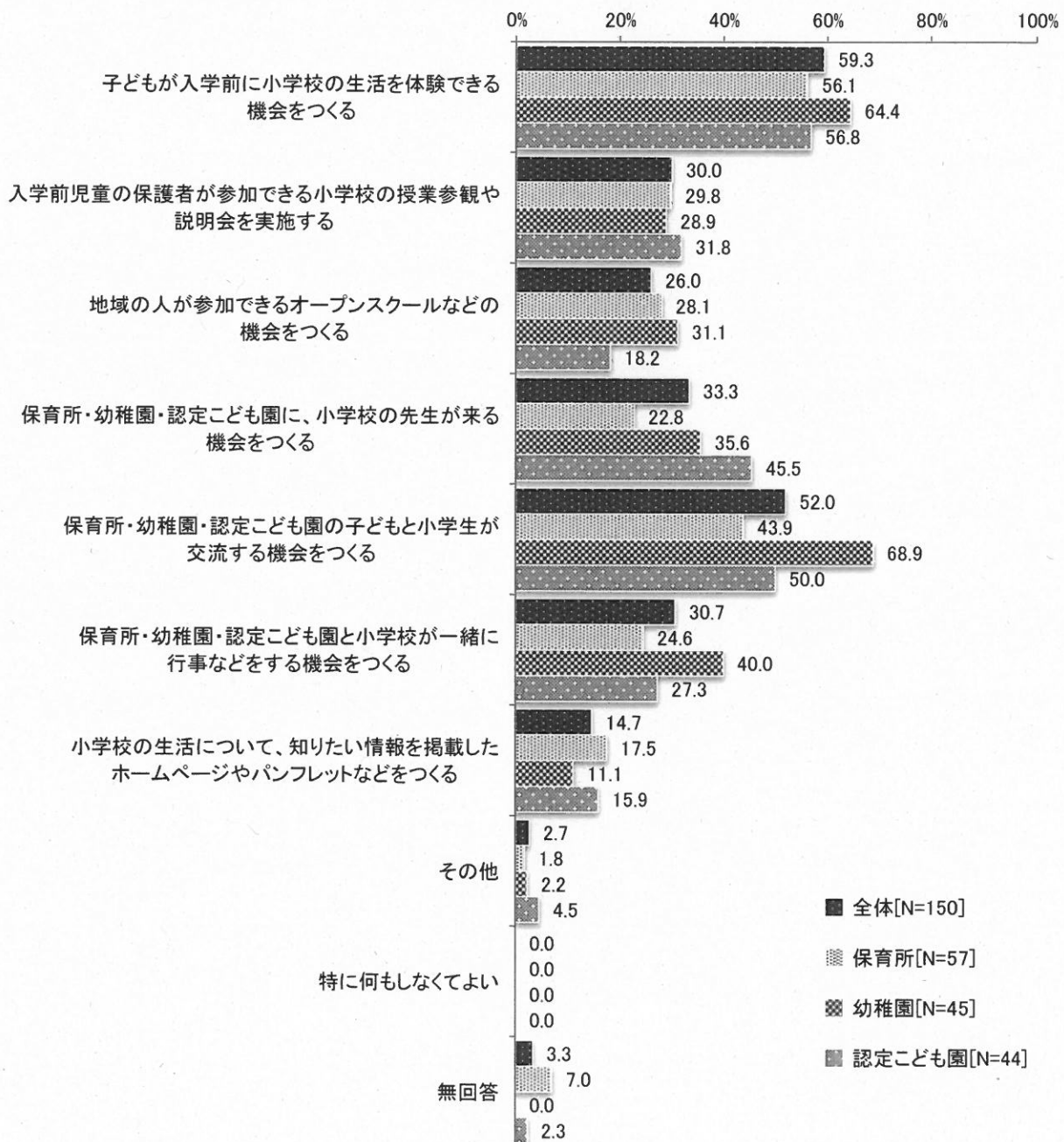
⑤ 小学校入学前にあればよいと思う取組み

問 24 小学校入学の心配を解消するために、どんな取組みがあればよいと思いますか。(3つまで選んで○)

小学校入学前にあればよいと思う取組みについて聞いたところ、「子どもが入学前に小学校の生活を体験できる機会をつくる」が59.3%と最も多く、次いで、「保育所・幼稚園・認定こども園の子どもと小学生が交流する機会をつくる」が52.0%となっています。

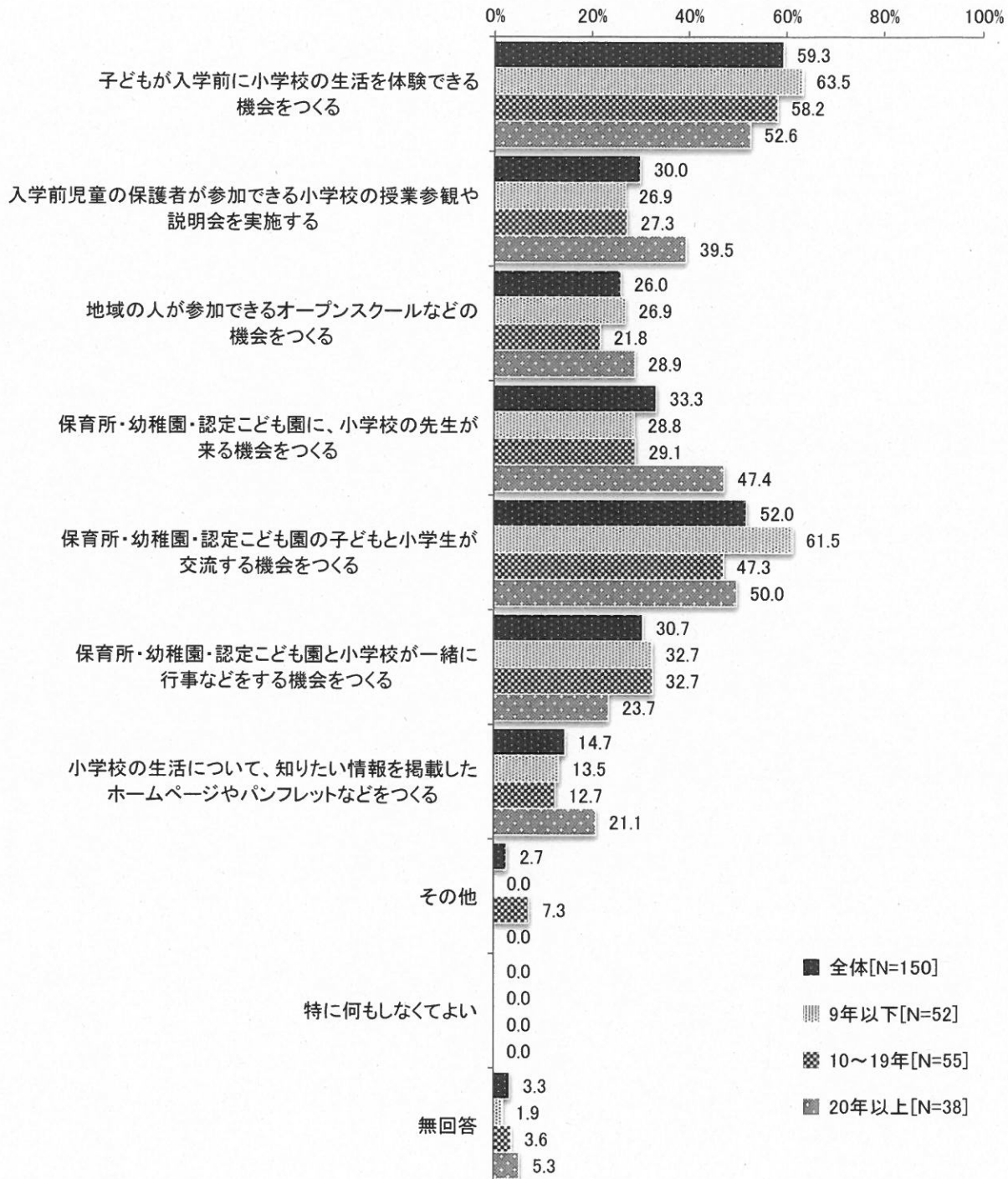
勤務先別でみると、幼稚園で、「保育所・幼稚園・認定こども園の子どもと小学生が交流する機会をつくる」をあげる人が多くなっています。

図表 247 小学校入学前にあればよいと思う取組み [N=150] 【勤務先別】



経験年数別でみると、9年以下の人で、「保育所・幼稚園・認定こども園の子どもと小学生が交流する機会をつくる」をあげる人が他と比べて多くなっています。また、20年以上の人で、「保育所・幼稚園・認定こども園に、小学校の先生が来る機会をつくる」、「入学前児童の保護者が参加できる小学校の授業参観や説明会を実施する」をあげる人が他と比べて多くなっています。

図表 248 小学校入学前にあればよいと思う取組み [N=150] 【経験年数別】

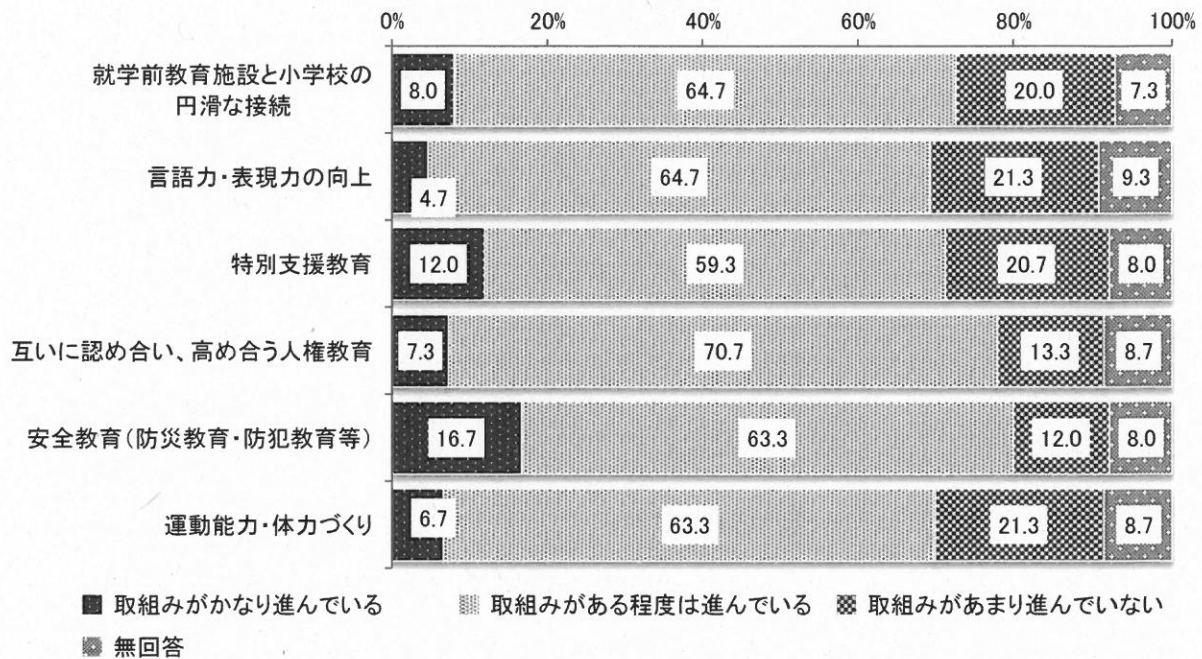


⑥市の教育に関する取り組みについての感想

問 25 泉大津市が教育の充実に関し、現在推進している次の取り組みについて、あなたはどのように思いますか。（各項目それぞれひとつに〇）

市の教育に関する取り組みに関し、進捗状況についてどう思うかを聞いたところ、いずれも、「取り組みがある程度は進んでいる」と考える人が多くなっています。勤務先別でみると、幼稚園で「特別支援教育」の「取り組みがかなり進んでいる」と感じている人が多くなっています。

図表 249 市の教育に関する取り組みについての感想 [N=150]



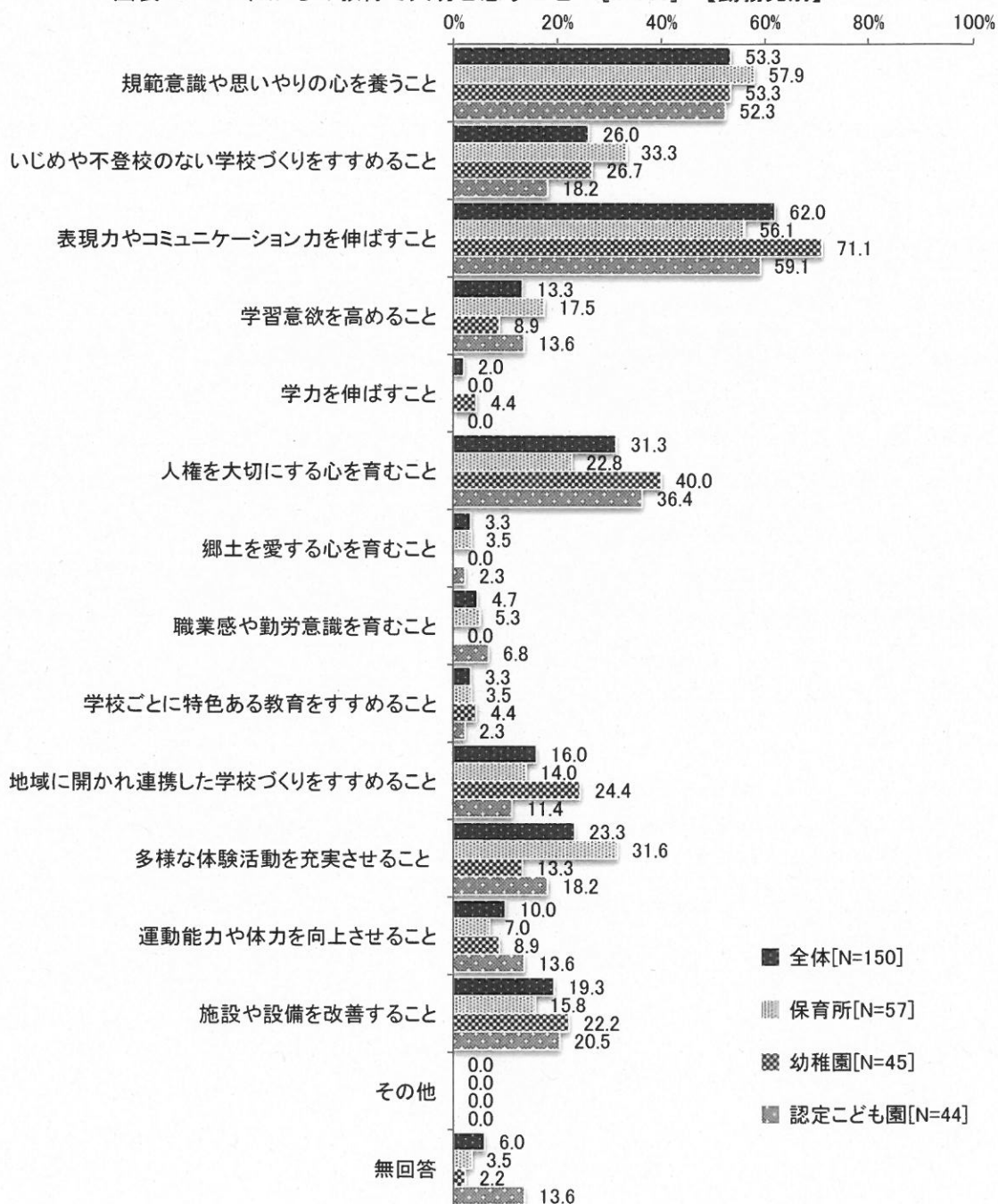
⑦これからの教育で大切と思うこと

問 26 あなたは、これからの教育について、特にどんなことが重要だと思いますか。（3つまで選んで○）

これからの教育で大切と思うことについて聞いたところ、「表現力やコミュニケーション力を伸ばすこと」が62.0%と最も多く、次いで、「規範意識や思いやりの心を養うこと」が53.3%となっています。

勤務先別でみると、幼稚園で「表現力やコミュニケーション力を伸ばすこと」をあげる人が多くなっています。その他、「多様な体験活動を充実させること」は、保育所で他と比べて多くなっています。

図表 250 これからの教育で大切と思うこと [N=150] 【勤務先別】



経験年数別でみると、9年以下の人で「表現力やコミュニケーション力を伸ばすこと」をあげる人が他と比べて多くなっています。また、10～19年の人で、「規範意識や思いやりの心を養うこと」をあげる人が多くなっています。

図表 251 これからの教育で大切と思うこと [N=150] 【経験年数別】

